

令和4年度 文部科学省委託事業

学校等における  
生命（いのち）の安全教育推進事業

成果報告書



和歌山市立山東小学校



かつらぎ町立筈田中学校



和歌山県立箕島高等学校



和歌山県教育委員会



## はじめに

令和2年6月11日に行われた「性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議」において、「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」が決定され、令和2年度から令和4年度までの3年間を対策の集中強化期間と定められました。

これを受け、内閣府と文部科学省が連携して作成した「生命（いのち）の安全教育」の教材と「指導の手引き」が、令和3年4月に公表・周知されているところです。

強制的性交等罪、強制わいせつ罪等の被害に遭う被害女性年齢層別認知件数によりますと、20代以下の女性の割合が非常に高くなっており、さらに全国的にも性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターに対する相談件数が年々増加しています。

このような状況の中、教育現場においては、児童生徒が性犯罪・性暴力の当事者とならないための教育や啓発が重要であり、生命の尊さ、自分や相手を尊重すること、性暴力の加害者や被害者、そして傍観者にならないことを学び、性暴力はあってはならないという意識を高めていくことが大切です。

県教育委員会では、令和4年度に文部科学省の委託事業である「学校等における生命（いのち）の安全教育推進事業」に取り組むこととし、和歌山市教育委員会、かつらぎ町教育委員会と連携し、和歌山市立山東小学校、かつらぎ町立笠田中学校、県立箕島高等学校を実践校として指導モデルの作成を行いました。

この取組を通じて、児童生徒、教職員の性犯罪・性暴力に対する意識が高まったことはもちろんのこと、外部講師として御協力いただきました東京医療保健大学入駒一美教授の適切な御指導・御助言により、モデル授業を円滑に推し進めることができ、同時に今後の課題等も明らかとなったところです。

本報告書には、実践校3校が実際にモデル授業を行うために作成した指導案や、モデル授業のアンケート等を掲載していますので、今後の生命（いのち）の安全教育の取組の参考に御活用いただければ幸いです。

結びに、本事業の指導・助言者として御協力いただきました東京医療保健大学入駒一美教授、関係の各学校、各教育委員会の皆様方に深く感謝を申し上げます。

令和5年2月

和歌山県教育庁学校教育局教育支援課  
課長 川口 勝也

# 目 次

## はじめに

和歌山県教育委員会の取組について . . . . .	1
----------------------------	---

## 和歌山市立山東小学校

取組の概要 . . . . .	7
-----------------	---

指導案 . . . . .	13
---------------	----

アンケート . . . . .	15
-----------------	----

## かつらぎ町立笠田中学校

取組の概要 . . . . .	25
-----------------	----

指導案 . . . . .	31
---------------	----

アンケート . . . . .	53
-----------------	----

全体計画 . . . . .	59
----------------	----

## 和歌山県立箕島高等学校

取組の概要 . . . . .	61
-----------------	----

指導案 . . . . .	67
---------------	----

アンケート . . . . .	84
-----------------	----

和歌山県教育委員会



## 1 生命（いのち）の安全教育の趣旨・目標

### (1) 趣旨

#### ア 性犯罪・性暴力対策の強化

性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為であり、その心身に長期にわたり重大な悪影響を及ぼすものであることから、その根絶に向けた取組や被害者支援を強化していく必要がある。

性犯罪・性暴力の根絶は、待ったなしの課題であり、その根絶に向けて誰もが性犯罪・性暴力の加害者にも、被害者にも、傍観者にもならないよう、社会全体でこの問題に取り組む必要がある。

令和2年度から4年度までの3年間を、性犯罪・性暴力対策の「集中強化期間」として、「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」（令和2年6月11日決定）に基づき、被害者支援の充実、加害者対策、教育・啓発の強化等の実効性のある取組を速やかに進めていく。

#### イ 生命（いのち）の安全教育

「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」の「教育・啓発活動を通じた社会の意識改革と暴力予防」の一環として、子供を性暴力の当事者にしないための「生命（いのち）の安全教育」を推進する。

性犯罪・性暴力を根絶していくためには、加害者にならない、被害者にならない、傍観者にならないための教育と啓発を行っていくことが必要である。

そのためには、子供たちに、そして、社会に、①生命（いのち）の尊さや素晴らしさ、②自分を尊重し、大事にすること（被害者にならない）、③相手を尊重し、大事にすること（加害者にならない）、④一人一人が大事な存在であること（傍観者にならない）というメッセージを、強かに発信し続けることが重要である。

性暴力の加害者、被害者、傍観者にさせないため、就学前の教育・保育を含め、学校等において、地域の人材の協力も得ながら、また、保護者等の理解を得ながら、「生命（いのち）の安全教育」を推進する。

### (2) 目標

性犯罪の加害者、被害者、傍観者にならないようにするために、生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切に考える考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を、発達段階に応じて身に付ける。

(生命（いのち）の安全教育 指導の手引きより抜粋)

## 2 実践校について

実践校名	児童生徒数	学級数
和歌山市立山東小学校（6年生）	20	1
かつらぎ町立笠田中学校（3年生）	52	2
和歌山県立箕島高等学校（1年生）	121	4

### 3 事業の実施体制

性犯罪・性暴力の根絶を求める社会的気運が高まっている中、性犯罪・性暴力被害者のためのフンストップ支援センターに対する相談件数は増加傾向にあり、和歌山県での相談件数も、全国の相談件数に比例して年々増加する状況である。

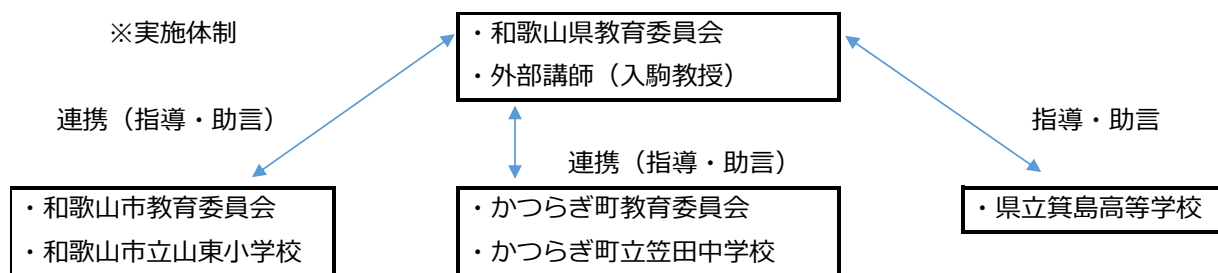
また、全国的に教職員によるわいせつ事案が発生しており、当県では児童相談所職員による10代少女に対するわいせつ事案が発生しているほか、知事部局と連携している「ネットパトロール事業」では、児童生徒によるSNSへの個人情報の投稿や、知らない人との出会いを求める投稿が散見されていることから、性犯罪や性暴力に対する危機意識の低さが感じられる状況であった。

インターネットやスマートフォン等の普及により、性に関する情報が氾濫し、様々な情報をいつでも入手できることで、学校において、児童生徒一人一人が性に対する基本的な知識を身に付ける重要性が高まっており、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行う力を育む環境が必要である。

性犯罪・性暴力を根絶していくためには①生命（いのち）の尊さや素晴らしさ、②自分を尊重し、大事にすること（被害者にならない）、③相手を尊重し、大事にすること（加害者にならない）、④一人一人が大事な存在であること（傍観者にならない）を発信し続けることが重要であることから、「生命（いのち）の安全教育」を推進する必要が認められた。

公募等を通じ、和歌山県教育委員会が主たる機関となり、和歌山市教育委員会及びかつらぎ町教育委員会と連携し、和歌山市立山東小学校、かつらぎ町立笠田中学校、和歌山県立箕島高等学校を実践校としてモデル授業を実施することとした。

実践校が「生命（いのち）の安全教育」の教材や指導の手引き等を活用した指導モデルを作成するにあたり、授業を担当する教諭やサポートする管理職が円滑に取り組めるよう、外部講師として、長年にわたって学校保健の普及と向上に尽力してきた東京医療保健大学入駒一美教授を助言・指導者として招聘した。



### 4 教育委員会等が取り組んだ内容

#### (1) 指導案の作成に向けて

実践校が小学校、中学校、高等学校と分かれており、児童生徒の発達段階が全く異なる校種であることにより、文部科学省が定めたねらいや留意事項、指導案を作成するための取組内容等について共有する必要があったことから、県教育委員会が主体となって、令和4年4月に「生命（いのち）の安全教育推進事業」を行うための事前説明会を開催することとした。

事前説明会において、文部科学省が作成した「生命（いのち）の安全教育教材」や指導の手引き



や授業を行うに当たっての留意点等について説明し、実践校がそれぞれの授業を行う時期の確認や、授業を行うにあたっての疑問点などを集約し、和歌山市立山東小学校、和歌山県立箕島高等学校においては令和4年9月、かつらぎ町立笠田中学校においては令和4年11月にモデル授業を実施する予定として、指導案の作成を進めることとなった。（その後、山東小学校にあつては11月に変更となった）

ただ、いずれの実践校についても初めての取組であり、これまで積極的に触れてこなかった分野の授業となることから、授業の展開に対して「どこまで具体的に入り込んでよいか」「短時間で大事な部分を浸透させられるか」「授業に教材の内容の全てを網羅する必要はあるのか」など、実践校が共通して不安に感じている点が多いことが浮き彫りとなった。

そこで、県教育委員会から年間を通じてのスケジュールの指針を示し、指導案作成の目標となる期間を設定するとともに、各実践校に、定期的に指導主事や入駒教授を実践校に派遣し指導案作成の補完を行うこととした。

また、モデル授業実施までの間は、指導案の作成と、指導案作成に関する事前指導を各校2回ずつ設定し、指導における重点等について、取組状況に応じた助言を行った。

事前指導においては、外部講師である入駒教授から実践校に対し忌憚のない助言をいただき、授業のねらいや展開について教示してもらった。

その中で、児童生徒の変容を把握するためには事前事後に行うアンケートを実施することが効果的であるとの助言を受け、モデル授業の事前事後に実施するアンケートの内容などについても協議を行った。

## **(2)年間スケジュールについて**

「学校等における生命（いのち）の安全教育推進事業」において、県教育委員会及び各実践校が取り組んだ年間スケジュールは次頁のとおり。

各実践校は、通常の行事の合間を縫って「生命（いのち）の安全教育」の指導案作成や、教職員研修を実施する必要があることから、担任や生徒がクラスに馴染み、比較的行事が少ない夏休み明けから秋口にかけてモデル授業を実施する計画を立てた。

各実践校の希望等により、モデル授業の実施時期を9月～11月に定め、5月頃から文部科学省の指導の手引き、生命（いのち）の安全教育教材を参考とした指導案の作成と、各実践校に赴いて指導案の指導・助言などを行う協議を2回、教職員研修1回を実施することとした。

令和4年度 学校等における生命（いのち）の安全教育推進事業 年間スケジュール

月	県教育委員会	山東小学校	笠田中学校	箕島高校
4月	事業実施説明会の開催	県教委主催 事業実施説明会に出席	県教委主催 事業実施説明会に出席	県教委主催 事業実施説明会に出席
5月		教材の工夫改善 指導案の作成開始	教材の工夫改善 指導案の作成開始	教材の工夫改善 指導案の作成開始
6月	【入駒教授、指導主事】 山東、箕島訪問→  モデル授業実施後 児童生徒用アンケート項目検討	教材の工夫改善 外部講師による、事前指導、助言		教材の工夫改善 外部講師による、事前指導、助言
7月	【入駒教授、指導主事】 山東、笠田、箕島訪問→	教材の工夫改善 外部講師による、指導案の確認	教材の工夫改善 外部講師による、事前指導、助言	教材の工夫改善 外部講師による、指導案の確認
8月	【入駒教授、指導主事】 山東教職員研修→  【教育相談室専門員、指導主事】 笠田訪問、箕島教職員研修→	教職員を対象とした研修会の開催 アンケート項目の内容等の確認	教材の工夫改善 外部講師による、事前指導、助言	教職員を対象とした研修会の開催 アンケート項目の内容等の確認
9月	【入駒教授、指導主事】 笠田教職員研修→  【入駒教授、指導主事】 箕島モデル授業訪問→		教職員を対象とした研修会の開催 アンケート項目の内容等の確認	■モデル授業の実施 ↓ 研究協議実施
10月				
11月	【入駒教授、指導主事】 山東、笠田モデル授業訪問→	■モデル授業の実施 ↓ 研究協議実施	■モデル授業の実施 ↓ 研究協議実施	
12月		「指導モデル」指導案等の完成 成果と課題等を県教委と共有	「指導モデル」指導案等の完成 成果と課題等を県教委と共有	「指導モデル」指導案等の完成 成果と課題等を県教委と共有
1月	成果報告書 製本	【文科省報告様式】 実践協力校における取組概要 作成	【文科省報告様式】 実践協力校における取組概要 作成	【文科省報告様式】 実践協力校における取組概要 作成
2月	事業完了説明会の開催  事業完了報告書提出	県教委主催 事業完了報告会に出席	県教委主催 事業完了報告会に出席	県教委主催 事業完了報告会に出席
3月				

### (3)教職員研修について

「生命（いのち）の安全教育」を推進するためには、児童生徒のみならず、事業担当者以外の教職員についても理解を深めることが必須であるため、教職員を対象とした研修を実施する必要があった。

職員研修にあつては、各学校の実情に応じ、「生命（いのち）の安全教育」に関連して学校から困っていることや今後対応が必要となること等を、入駒教授や県教育委員会指導主事と協議の上、各学校のニーズに応じたテーマを選定し、各実践校において講義を行うこととした。

和歌山市立山東小学校においては入駒教授が「生命（いのち）の安全教育を進めるにあたって」と題して生命（いのち）の安全教育の趣旨・目標や、性に関する指導の留意点や児童虐待について講義を行った。

かつらぎ町立笠田中学校においては入駒教授が「生命（いのち）の安全教育を進めるにあたって」と題してジェンダーの問題や性に関する教育の現状などについて講義を行い、また、県警から出向している県教育委員会指導主事が「生命の安全教育推進事業の背景、性暴力、性犯罪の現状について」と題して生命（いのち）の安全教育推進事業が行われるようになった背景や、警察官の視点から性暴力、性犯罪の現状について講義を行った。

県立箕島高校においては、県教育委員会教育相談室専門員が「困っている生徒への支援について」と題して学校で実際に起こりうる事例を通じて困っている生徒への支援方法や、性暴力に遭った被害者がどのような状況に陥っているかなどについて講義を行い、また、県警から出向している県教育委員会指導主事から、警察が性犯罪捜査を行うにあたって被害者に対して注意することなどについて講義を行った。

各実践校において職員研修を行った結果、生命（いのち）の安全教育推進事業の重要性や、性暴力を受けた生徒の対応など、学校全体で共有することができた。



和歌山市立山東小学校



## 1 指導モデルの概要

### (1) 概要について

文部科学省教材「生命（いのち）の安全教育・小学校高学年用」を参考として、教材に沿って授業を展開することとした。

本校は、和歌山市の東部に位置し、校区の三方を山に囲まれた自然豊かな地域にあり、児童は全体的には落ち着いており、学校での教育活動に協力的な家庭も多い。

しかしながら、携帯電話やスマートフォンの普及により、本校においても高学年になると、約半数以上の児童が自分のスマートフォンを所持しており、極度のゲーム依存のような児童やSNSを日常的に利用している児童もおり、都市部の学校の児童と同じような課題も出てきている。

性教育や保健分野においては、小学校高学年ともなると、女子の乳房のふくらみや初経の経験者が増加し、女子において二次性徴の発現が著しくなり、男子では変声が始まる児童もおり、少数ではあるが精通を経験するものもいる。

男女ともに性に関する知識欲は増大し、身近な性情報に強い関心を示すようになる時期でもあるが、前述したスマートフォンなどで誤った知識を吸収してしまうことも考えられる。

これらの基本的な知識の獲得は十分ではないが、刺激や情報には過敏に反応し、知識が十分ではない分ふざけてしまう児童の実態も予想され、丁寧に指導していく必要があると考えられた。

本校6年生の児童の実情として、自分の気持ちを他人とうまくキャッチボールできない子が多く、精神的な幼さがあるためか、性的なことを大っぴらに言う子（自身が生理であることや下ネタを言う、スカートめくりをする）等が認められることから、中学校に進学する前段階として「自分を大事にして、先を予測する力を身に付け、言いたいことを言い合えるようなコミュニケーション能力を磨くこと」や「体や心の距離感が自分と他人とは違うということ」を知ることが必要である。

6年生の児童は、小学校1年生～4年生の学習において「自分と他の人の体を大切にすること」や、これまでの保健の授業において男女の体の違い、思春期、反抗期などの心の変化について学んでいることから、そのことをベースに生命（いのち）の安全教育において必要な「自分以外の他の



〔第1回 事前協議の様子〕

人を尊重するための心と体の距離感」、「自分と他の人を守る距離感」に重点を置いて授業を行うこととした。

また、オンラインゲームやスマートフォンのSNSなどで知らない人とやり取りをする年代となることから、相手がわからない場合の距離感の取り方などについて、自分の気持ちを発表させることで、他人との距離感の違いや、今後、性暴力の加害者・被害者にならないための思考力を学べるようにした。

## (2) 授業の展開について

授業は1コマ45分授業で実施した。

モデル授業を実施するにあたり、児童には「自分の言いたいことを言い合えるようになること」が特に大事だと考えており、授業中に考えた自身の意見を言えるように、なるべく多くの児童に発言してもらえるように授業を展開することとした。

ただ、授業を行うにあたって児童が学習する内容が多いため、児童が授業に取り組みやすくするよう、夏場のプールの授業等を通じて大事な部分を隠すことの意味を伝えておくことや、普段の授業を通じてインターネットに公開された情報はデジタルタトゥーとしてずっと残り続けることなどを説明する機会を設けておき、授業前にあらかじめワークシートに自分の考えを記載させておくなど工夫するようにした。

授業では、まず人間の体で大事な部分を児童から発表してもらおうこととし、児童からは「頭、顔、心臓」等、様々な意見が発表されたが、プライベートゾーンに言及する生徒はいなかった。

そこで、担任が以前プールの授業でプライベートゾーンが大切だと説明したことを児童に思い出させ、プライベートゾーンが大事な部位であることや、体も心も大事にしなければならないことを説明した。

そして、体にも心にも距離感が必要であることを説明し、児童にはそれぞれ大切にしなければならないことを発表してもらった。

中には、他人の意見に付け足して意見を発表したり、体にも心にも共通する大事な部分が挙げられたりと、児童から活発に発表があった。

体と心の距離感とは自分で決めることであり、他人と同じではないと展開した後、実際に担任から児童に話しかけることにより、近すぎる距離感や遠めの距離感を実践し、どの距離感であれば自分にとって納得のいくものかを体験させ、一人一人の距離感が異なることを実感させることができた。

授業の後半では、今までで嫌だったことやSNSでの体験などを実際に児童に発表してもらったが、中にはつらい体験であったにも関わらずその体験をはっきりと述べ、SNSで知らない相手から実際に電話がかかってきたことがあるなど生々しい体験を発表する児童もあり、嫌なことを「嫌だった」と発表することで、相手の行為が自分の距離感と合わない出来事だったと思ひ返させることができた。

児童に対しては、困ったことを一人で抱え込まないよう、怖い思いをした場合には「大人に相談すること」や、自分が嫌なときに「嫌」と答えることで自分が悪くなることはなく、自分を守るためには大事なことだと展開して指導し、残り時間でワークシートに自分の考えや思いを記入してもらおうこととした。多くの児童は、ワークシートの授業感想欄に自分の思いを記載しており、授業に



〔モデル授業の様子〕



ついては一定の成果があったものと感じられた。

### (3) 課題等について

実際に授業1コマで、指導案の目標すべてを児童に対して実践することはかなり時間の制約があったことから、授業では黒板を見れば展開したことがすぐに時系列で分かるように板書するなど工夫したが、目標となる点を一つずつ丁寧に展開する時間が足りなかった。

目標となる点を児童に落とし込み、より体と心の距離感について学習するためには、設定時間の工夫が必要だと感じた。

また、自分の意見を発表させる場を多く設ける授業となることから、同様の授業を行う場合には、日ごろから担任と児童の関係性を築いておくことで、児童から自由な意見を引き出せることができると考えられた。



〔モデル授業 板書の展開状況〕

## 2 子供たちの変容等

### (1) 事前アンケート

本校は規模が小さい学校であり、6年生は人懐っこい児童が多く、男女の仲も良い。

また、同じ学校で6年間育ってきているので、お互いの性格などを分かり合っている児童が多いが、男女とも幼い部分があり、児童によっては他人との身体の距離感が近く、同性、異性にかかわらず身体に触れることに抵抗がない行動も見受けられ、配慮して発言することがあまりなく無意識に他人を傷つける言葉を発していることも多かった。

さらに、ネットゲーム、SNS等を使用している児童の中には、ネット上の知らない人とチャットや音声で会話している児童もいる状況であった。

よって、事前アンケートでは、児童の体と心の大切な部分や、体と心の距離感について児童の意思や意見をなるべく自由に述べてもらいたいと考え、「①自分の体のことで気になっていること」「②他の人に言われたり、されたりしたことでのいやだったこと」「③ケータイスマホなどでSNSをどの程度利用しているか」の3問を記述式で回答してもらうこととした。

「①自分の体のことで気になっていること」では児童から

- ・身長が低いことが気になる
- ・毛が濃いこと、太っていること
- ・にきびが出てくる

等と見た目のことに関する記載が多く認められる一方で、

- ・生理が心配

- ・おなか痛くなるけど生理がこない
- ・少し、高音を出しにくくなっている

等と二次性徴の発現に関する悩みを抱えている子もいた。

また「②他の人に言われたり、されたりしたことでいやだったこと」では、

- ・あだ名で呼ばれるのがいやだった
- ・男子にいやなことを言われた
- ・うそを言われて全部自分が悪いことにされた
- ・好きな人をばらされた
- ・生理がきたことをいじられた、過去のはずかしかったことをばらされた

等の記載があり、授業実施前は他人と異なる心の距離感について、一方的に入り込まれている状況が見受けられた。

最後の「③ケータイやスマホなどでSNSをどの程度利用しているか」の問いには、多くの回答者がYouTubeやTikTokを毎日のように利用していることが分かった。

## (2) 事後アンケート

事後アンケートについては、学校側が授業で伝えなかったことについて、児童にどの程度浸透しているか自分の意見を率直に書いてもらうことが大切だと考え、「①自分とほかの人との体の距離感、心の距離感について、これから気を付けていきたいと思うこと」「②ケータイやスマホ、SNSの使い方であげたいと思うこと」「③今回の学習で思ったことや考えたこと、新しく分かったこと」の3問について記述してもらうこととした。

まず、「①自分とほかの人との体の距離感、心の距離感について、これから気を付けていきたいと思うこと」では、

- ・人それぞれ体の距離感や心の距離感があると分かったから、これから気をつけたい
- ・他の人の心をきずつけないようにしたい
- ・いやなときはいやって言う
- ・しっかりと相手のことを思う
- ・自分にとっては良くて、相手にとってはどうなのかをよく考えて行動しようと思った

等の記載があり、体と心の距離感について授業内容が児童に伝わっているものと考えられた。

次に「②ケータイやスマホ、SNSの使い方であげたいと思うこと」では、

- ・知らない人と連絡しないように気をつける
- ・本当の情報がわからないときは、複数の情報と見くらべる
- ・会ったことがない人とは関わらないようにする
- ・知らない人や見知らぬ人との「距離感」はわからないので、あやしいと思ったら、すぐに打ち切りたいと思った
- ・写真などを投稿するときは住所を特定できるようなものをうつさないようにする

等と、インターネットやSNS上での見知らぬ相手との距離感には相手には伝わりにくく、一方的なものになりやすいことが浸透していると認められた。

また「③今回の学習で思ったことや考えたこと、新しく分かったこと」では

- ・体や心の距離感のおきかたや、スマホやSNS等の使い方であげないといけないことを新しく知った
- ・いのちのことを考えていると、身近なことにつながっていた。体や心には距離感がある

ことが改めて分かった

- ・「いやだ」と言ってもいいということ。むずかしい授業だと思いました。もっとくわしく学びたいです
- ・自分を大切にするのは、とても大事なことだとわかった。されていやなことがあったときは、「いやだ」と言えるようになりたい

等の感想があり、授業内容について一定の理解が得られていると推認できた。

### (3) 保護者アンケート

本校では、今回の授業を実施するにあたり、児童が体と心の距離感や、インターネットやSNSで他人との距離感について学ぶには保護者の協力や理解も必要であると考え、修学旅行説明会を利用し保護者に対し事前に授業内容を伝え、児童と話し合うきっかけにもなるよう、授業実施後に保護者アンケートを実施することとした。

保護者アンケートにおいては、

- ・この授業があったということ、いつまでも覚えていてほしい
- ・子供と話し合ういいきっかけになりました
- ・父と子が話しているときに、子供が「痛いかな、痛くないかな、嫌かな、嫌じゃないかなはやられた方が決めるんやで」と話していた
- ・一歩引いて見守っていけるよう、学校のこういう授業は続けてほしい
- ・親も参加してみたい

等の意見が寄せられており、授業の取り組みについて反対するような意見は無く、生命（いのち）の安全教育に関する保護者の理解は得られているものと考えられた。

### (4) 授業後の変容について

本授業を実施後、話し合い活動の際には「言い方には気を付けよう」等の声が児童から聞かれるようになり、「相手を傷つけないようにこれからは気を付けたい」「相手の気持ちを考えたい」という思いを持つ児童が多く見られるようになった。

また、総合的な学習で、バリアフリーやジェンダーなどについて調べ、発表させた際には「相手の立場に立つこと」「自分だけの感覚で判断しない」等の言葉が児童から聞かれ、体と心の距離感について、児童も継続して意識しているように感じられた。

スマートフォンやSNSの使用法や約束についても、事後アンケートの結果より、保護者との連携が取れるようになり、モデル授業を行ったことによる児童の変容が確認できた。

## 3 その他

### (1) 教職員研修について

本校には、過去に児童虐待に遭った児童がいることから、児童虐待に関する現状や、生命（いのち）の安全教育を通じ、今後、教職員が被害児童から虐待に関する相談を受けた場合の対応や、虐待を受けた児童に何が起こっており、どう接していくか等について、理解を深める必要があった。

そこで、生命（いのち）の安全教育の実践校に対する指導・助言を依頼していた入駒教授に、学習指導要領に基づく性に関する指導方法や、児童虐待の現状について講義を行ってもらうことで理

解を深めることとした。

入駒教授からは、前半に学習指導要領に基づく性に関する指導方法や、SNSに起因する事犯の被害児童数、児童ポルノ事犯の被害児童数、フィルタリングの有無での被害児童の割合、過去に比べて男女交際を望んでいる生徒が減っていることなど、普段目にする事のない統計を通じて小学生の現状を解説してもらい、後半では児童虐待の実態や相談が増えた経緯、児童虐待の原因、児童虐待の気付きと初期対応などについて講義を受けた。

研修を受けた教職員からは「児童虐待について改めて講義を行っていただくことで、現状を知ることができ、虐待を受けた児童への接し方などを学ぶことができた」等の感想があり、児童虐待に関する理解をより一層深めることができ、生命（いのち）の安全教育への教職員の意識を高めることができた。



〔教職員研修の様子〕

## (2) 指導案、ワークシート、アンケート結果等について 別添のとおり

# 6年生「生命（いのち）の安全教育」学習指導案

R4.11.1 5限目 山東小学校 6年1組

## 1. 主 題 『生命の安全教育』

教材名 「生命の安全教育・小学校高学年用」（文部科学省）

## 2. 指導にあたって

小学校1年生～4年生の学習で身につけた「自分と他の人の体を大切にする」という考え方をベースに、自分以外の他人を尊重するための心と体の距離感を学び、自分と他の人を守る距離感のルールを理解することで、性暴力の加害者・被害者にならないための思考力を高めていくことが必要である。また、対等な関係性を理解することで性暴力の加害者にならないための思考を身に付け、さらに、小学校高学年でスマートフォンを所持している児童や、パソコンを使用できる環境にある児童も多く、SNS等を介した性暴力被害を未然に防ぐため、事例を通してSNSの危険性を理解する必要がある。

## 3. 目 標

- ・自分と他の人の大切なところ（「水着で隠れる部分」等）を守るルールを理解できるようにする。  
※水着で隠れる部分は「プライベートゾーン」「プライベートパーツ」といわれることもある。
- ・心と体には距離感があるという認識を身に付け、他の人の気持ちを尊重した意思決定と行動選択ができるようにする。
- ・SNSで見えない相手とつながることの危険について考え、安全な意思決定と行動選択ができるようにする。
- ・距離感が守れないとき取るべき行動を理解し、相談方法を身に付けることができるようにする。
- ・お互いの気持ちを尊重し、よりよい人間関係を構築しようとする態度を養う。

## 4. 指導上の留意点

- ・本時の学習内容と併せて、「情報モラル教育」「ジェンダー理解」「人間のからだと発達」などの学習を事前・事後に実施し、年間を見通して包括的に学習内容を指導できるようにする。
- ・「水着で隠れる部分」のみが体の中で大事な部分であるという伝え方にならないように注意する。
- ・家族や親族等から実際に性暴力被害を受けている児童がいる可能性もあることを意識して、授業を実施する。可能であれば養護教諭が授業に立ち合い、児童の個別の様子などを観察しながらフォローする。事前に性暴力に遭った児童がいると把握できている場合は、授業前に個別に声かけをおこない、授業へ参加するかどうかは自分で決めてよいと伝える。

5. 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	教材等
導入	<p>・今までに学習した保健の内容について確認する。</p> <div data-bbox="312 300 1187 367" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     体や心で大切にしないとイケないことは何だろう。                 </div> <p>・目に見えているところだけではなく、ふだん服や下着でかくれているところも大切だと知る。</p>	<p>・児童の意見を拾いながら、出てこないようであればプライベートゾーンの説明もおこなう。</p>	
展開	<div data-bbox="284 568 1305 636" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     今までの生活で言われたり、されたりしていやだったことはありますか？                 </div> <p>ワークシートに記入する。</p> <p>・体をさわられたことがある。 ・悪口を言われたことがある。 等</p> <div data-bbox="256 808 1414 1021" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     「大切な体」、「大切な心」は自分ももっているし、同じように他の人ももっている。自分を大切にするために「体の距離感」「心の距離感」は自分で決めていい。しかし、他の人がどのような距離感を決めているかはわからないので、勝手に判断して行動や発言してはいけない。自分も大切に、同じように友達も大切に作る。                 </div> <div data-bbox="252 1055 1265 1128" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     SNS などネット上での人との付き合い方で気をつけることは何だろう？                 </div> <p>・SNS において、見えない相手とつながることの危険性を理解する。</p> <div data-bbox="268 1294 1393 1420" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     自分の距離感が守ってもらえないとき、SNS でこわい思いをしそうになったときはどうすればいいだろう？                 </div> <p>・自分で考えてワークシートに記入する。(大人に相談する、先生に言う など)</p> <p>・いやなときは「いやだ」と言うこと、その場を離れること、信頼できる大人に相談することなどを知る。</p> <div data-bbox="240 1809 1398 1935" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     自分がいやな時には「いやだ」と言う。SNS でこわい目にあったら大人に相談しよう。そのことで、自分が悪くなることはない。                 </div>	<p>・人によって嫌なことが違ったり、平気だったりすることに気付かせる。</p> <p>・情報モラル教室などで学習したことなどを思い出させる。</p> <p>・ワークシートに記入させ、発表させる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p>
まとめ	<p>・自分と相手を大切にし、よりよい関係であるために大切なことを考える。</p>	<p>・時間があればワークシートに記入させる。時間がなければ、児童にその場で発表させる。</p>	<p>ワークシート</p>

## 6年生「生命（いのち）の安全教育」事前アンケート（児童用）

6年 組 番 氏名（ ）

① 最近、自分の体のことで気になっていることがあれば書いてください。

② 今まで、他の人に言われたり、されたりしたことで、いやだったことがあれば書いてください。

③ ふだん、ケータイやスマホなどで SNS をどの程度利用していますか。くわしく書いてください。（例 TikTok をほぼ毎日見ている。動画を投稿したことがある。ゲームのことで知らない人と会話したことがある。等）

## 6年生「生命（いのち）の安全教育」事後アンケート（児童用）

6年 組 番 氏名（ ）

- ① 自分と他の人との「体のきより感」「心のきより感」について、これから気をつけていきたいと思うことを書いてください。

- ② ケータイやスマホ、SNS の使い方で気をつけたいと思うことを書いてください。

（自分で使えるスマホ等を持っていない人は、持つようになったらどんなことに気をつけたいか書いてください。）

- ③ 今回の学習をして思ったことや考えたこと、新しくわかったことなどを書いてください。



## 6年生「生命（いのち）の安全教育」事後アンケート（保護者用）

6年 組 保護者氏名（ ）

- ① 今回、学校で「自分の心と体」と「他の人の心と体」はどちらもかけがえなく同じように大切だ、という内容の学習をしました。お子様と家で、自分の体のことや友達との関係などで、今までお話したことがあれば、お書きください。

- ② 同じく、今回ケータイやスマホ、SNS の使い方等で危険な場合があるという内容の学習をおこないました。お家の方で、何かルールが決まっていたらお書きください。（まだ、お子様にケータイ・スマホ等を持たせていない場合は、持たせる際にしたい約束事などについてお書きください。）

- ③ 今回のような授業についてどう思われますか。ご自由にお書きください。

## 山東小学校 6年生 「生命(いのち)の安全教育」 アンケート結果

### 児童用事前アンケート より

① 最近、自分の体のことで気になっていることがあれば書いてください。

- ・身長が低いことが気になっている。(男子)
- ・おなかが痛いのに大便秘結。(女子)
- ・生理が心配。にきびなどが出る。(女子)
- ・たまにおなかが痛くなる。(女子)
- ・おなかが痛くなるけど生理がこない。(女子)
- ・毛が濃いこと。太っていること。(女子)
- ・じんましんが出てぶつぶつになっている。(最近は薬をもらって治ってきている)(男子)
- ・少し、高音を出しにくくなっている。(声変わりだからしかたないと思っている)(男子)
- ・身長が小さい。(男子)

② 今まで、他の人に言われたり、されたりしたことで、いやだったことがあれば書いてください。

- ・あだ名でよばれるのがいやだった。(女子)
- ・まわりからの目線が気になることがあった。(男子)
- ・木の棒を投げられたことがあった。(女子)
- ・4年生のときに友達とけんかしていて、「死ね」と言われたこと。そのあと、自分も「アホ」と言って、まだあやまれていない。(男子)
- ・よばれたくないあだ名でよばれた。(男子)
- ・男子にちょっといやなことを言われた。(女子)
- ・髪型でツーブロックにしたときに男みたいやなと言われた。(女子)
- ・近所の人に「ちっちゃいな一ぼく」と言われた。(男子)
- ・うそを言われて全部自分が悪いことにされてしまった。(男子)
- ・お兄ちゃんの方が身長が小さいから、私がお姉ちゃんと思われるのがいやだった。自分のせいでお兄ちゃんが傷ついていたらいや。(女子)
- ・自転車に乗っていて、おばあさんに当たってないのに、なぜか10分ぐらい怒られた。(男子)
- ・好きな人をばらされた。(男子)
- ・ようちえんのとき、太っていたので、にんぷさんって言われた。体のことで悪口を言われた。(女子)
- ・生理がきていじられたことがある。過去のはずかしかったことをばらされた。(女子)

③ ふだん、ケータイやスマホなどでSNSをどの程度利用していますか。くわしく書いてください。

- ・ユーチューブをほぼ毎日見ている。(女子)
- ・毎日2時間ほど利用している。(女子)
- ・TikTokを1日で30分ほど見ている(平日)。休日は1時間をこえるときもある。LINEがずっと続くことがある。(女子)

- ・スマホを1日2時間ぐらい見ている。(女子)
- ・動画を投稿したことがある(TikTok)。ゲームで知らない人と会話したことがある。(男子)
- ・ゲームを1日1時間30分ほどしている。(女子)
- ・ほぼ毎日TikTokを見ている。(女子)
- ・TikTokを週2回ぐらい見ている。(男子)
- ・毎日、だいたい1時間から2時間ほどゲームをしている。(男子)
- ・ゲームで会ったことがない いとこのいとこと話したことがある。(男子)
- ・TikTokを見ている。ユーチューブを見ている(ほぼ毎日)。(女子)

## 児童用事後アンケート より

① 自分と他の人との「体の距離感」「心の距離感」について、これから気をつけていきたいと思うことを書いてください。

- ・自分だけの距離感だけでなく、相手の距離感に気づくことが大切だと思いました。(女子)
- ・相手の気持ち等をしっかり考え、ちょうどいい距離感をとり、いろいろな人と仲良くしていきたいと思えます。(男子)
- ・人それぞれ体の距離感や心の距離感があると分かったから、これから気をつけたいです。(男子)
- ・相手の距離感も考えつつ接する。近すぎず遠すぎずの距離感をたもつ。(女子)
- ・他の人の心をきずつけないようにしたい。(男子)
- ・いやなときはいやって言う。(女子)
- ・しっかりと相手のことを思う。(男子)
- ・友達を傷つけない。相手の気持ちになって考える。(男子)
- ・相手の距離感や自分の距離感といっしょではないと思った。距離感や相手が決めることではないので、勝手に決めないでおこうと思いました。(女子)
- ・自分が気づかないうちに、人を傷つけないように、言葉や心の距離感を大切にしたい。(女子)
- ・自分にとっては良くて、相手にとってはどうなのかをよく考えて行動しようと思った。(女子)

② ケータイやスマホ、SNSの使い方で気をつけたいと思うことを書いてください。

- ・知らない人と連絡をしないように気をつける。(女子)
- ・本当の情報かわからないときは、複数の情報と見くらべる。(男子)
- ・ちょさく権の物や人がOKしていない物を勝手に使わないこと。(男子)
- ・親にきちんとした使い方を聞いてから。知らない人から何か電話がかかってきたり、メールがきたりすると親や友達に相談する。(女子)
- ・ちゃんとルールを守って使っていきたいなと思います。(女子)
- ・変なアプリを使わない(危険など)。知らない人から何かしてきたらアプリを消す。親にこのアプリを使っているか聞く。(女子)

- ・会ったことがない人とは関わらないようにする。(男子)
  - ・ラインなどでのやりとりは、相手の表情などが分からないので、相手の表情を見ている時以上に気をつけないといけないと思います。(女子)
  - ・個人情報を出さない。他人に迷惑をかけない。相手のことも考えて発言する。(女子)
  - ・知らない人や見知らぬ人との「距離感」はわからないので、あやしいと思ったら、すぐにたち切りたいと思いました。(男子)
  - ・知らない人とつながることをしない。(男子)
  - ・知らない人と危険なことになったと思った場合は親や大人に相談する。(女子)
  - ・個人情報を書かない。(男子)
- 
- ・あやしいサイトは開かない。スマホを持つようになったら、使用時間を決めて、知らない人からメールや電話が来たら、すぐに消すようにする。(女子)
  - ・住所等を明かさないようにすること。知らない人からの電話は出ない。(女子)
  - ・変なサイトには行かない。知らない人とのメールをしない。変なアプリやゲームは入れない。(男子)
  - ・写真などを投稿するときは住所を特定できるようなものをうつさないようにする。(女子)

③ 今回の学習をして思ったことや考えたこと、新しくわかったことなどを書いてください。

- ・体や心の距離感のおきかたや、スマホやSNS等の使い方で気をつけないといけないことを新しく知ったので、普段の生活に生かしていきたいと思いました。(男子)
- ・新しく分かったことは、「体の距離感」と「心の距離感」です。これから人を傷つけずに、習ったことをいかしたいです。(男子)
- ・人間の体には、プライベートゾーンというところがあることを知らなかったのですが、今日の授業でわかりました。(女子)
- ・いのちのことを考えていると、身近なことにつながっていた。体や心には距離感があることが改めて分かった。(男子)
- ・体と心の距離感を大切にしていきたいです。ラインなどは相手の表情が見えないので、見えているとき以上に注意することが大切だと思います。(女子)
- ・今回の学習は初めてやる内容なのでちょっときんちょうしました。(男子)
- ・自分が良いと思っても相手は良いと思わないかもしれないから、そのまま言うのではなく、自分で相手の立場になってから言おうと思いました。(女子)
- ・心と体の距離感を意識しながら、中学校でも人間関係をきずいていきたい。思ってもないのに人を傷つけないように、言葉には気をつけたい。(女子)
- ・「いやだ」と言ってもいいということ。むずかしい授業だと思いました。もっとくわしく学びたいです。(女子)
- ・自分を大切にするのは、とても大事なことだとわかった。されていやなことがあったときは、「いやだ」と言えるようになりたい。(女子)

## 保護者用事後アンケート より

① 今回、学校で「自分の心と体」と「他の人の心と体」はどちらもかけがえなく同じように大切だ、という内容の学習をしました。お子様と家で、自分の体のことや友達との関係などで、今までお話したことがあれば、お書きください。

- ・自分を好きになることも大事だと教えてもらったと聞いて、すごく良い事だと思いました。最近頼りになることも増えてきて、成長してきているなど感じますが、すぐにイライラするところなどは、気をつけてほしいと思います。
- ・1500gで生まれた本人。NICUに入っていたお友だちの中には、体が不自由な子もいるのですが、自分達と何も変わらない同じ命であることを伝えたことがあります。たまたま不自由なく育っただけ。6年生になったある日、新生児仮死で、一度は絶えた命をお医者様に助けてもらったんだから自分の人生を大切に生きるよう伝えました。
- ・自分のことを卑下することがあるので、他人と比べないということ、自分も嫌と思う事がある様に、意図せず他人を傷つけてしまう事があるかもしれないから、自分の言動には気をつけるよう話しました。
- ・心も体も「健康でいてほしい」といつも言っています。目標に向かって努力する、友達と仲良くする等、どんなことでもいいので、1日をふりかえって「いい1日だった」と思える時間を積み重ねてほしいものです。何事にも明るく前向きに笑顔で。そういう気持ちであれば体も大事にできる。自分と同じように相手もかけがえのない存在。だから友達に対しても同じように、明るく笑顔で接してほしい。そして自分をそうするように、友達も大切にしてほしいです。
- ・友達関係では、自分がされて嫌なことはしないように伝えていますが、「自分の心と体」については、なかなか伝えきれていない所が多くあると思いますので、今回先生の方から話をしてくださり、ありがたいです。
- ・話をする相手は一人ひとり考え方や感じ方が違うので、それぞれに違った対応をしていかなければいけない。だけど、その上で自分の気持ちや好み、困ることもちゃんと伝えられるようになればいいね、というような話をしたことがあります。
- ・「13歳までに伝えたい女の子の心と体のこと」「ポップコーン天使」「おれたちロケット少年」などの本を読みながら話をしています。
- ・我が家では、体のことはもちろんですが、周りの人の心を傷つけることはしないよう話をする事が多いです。その中でも、自分の感情だけで無視するようなことは絶対しないよう伝えていきます。どんな時でも必ず言葉にする(返事など)。気づいていない時も、あとでわかった時に「気づかなくてごめんね」などと伝えるように話をしています。
- ・自分も自分の体などで嫌なことがあるように、人にも相手にはわからない所があるかもしれないから、気になるようなことは言わない、と言っています。相手の気持ちになって話しなさい、自分が言われて嫌と思うことは、相手の人も嫌なんだ、と伝えていきます。

・家で父親が息子(小6)に冗談で技をかけて、息子が「痛い！」と言って、父親が「痛くないやろ」と言ったときに、「痛いかな、痛くないかな、嫌かな、嫌じゃないかはやられた方が決めるんやで」という話を3人でした。それから下の子(園児)も園でそういう話をしたようで、「いのちってね、ひとつだけしかないからたいせつなんだよ」みたいなことを言っていました。息子(小6)もいろいろあると思いますが、善悪の区別がついてきていると思いますし、人の気持ちに敏感なのでこれからどんどん良くなってきそうな気がします。

② 同じく、今回ケータイやスマホ、SNSの使い方等で危険な場合があるという内容の学習をおこないました。お家の方で、何かルールが決まっていたらお書きください。(まだ、ケータイ・スマホ等を持たせていない場合は、持たせる際にしたい約束事などについてお書きください。)

- ・アプリを入れる時などは、親の承認を必要にしています。
- ・身に覚えのないラインやメールは開かない。SNSに自分の顔や個人情報を書かない等の約束をしています。
- ・まだ持たせてませんが、ラインなどの使用方法、自分自身の守り方などを話してから所持させようと考えています。問題が起きた場合は、正直に親子で話し合えるよう、親としても管理していきたいです。
- ・課金はしない。1日2時間まで。
- ・食事中は触らない。アプリをダウンロードするときは親に確認する。
- ・安易にコメントしない。だれかが傷つくような発言はしない。個人、プライバシーが特定できるような投稿はしない。知らない人とはやりとりしない。
- ・まだ、スマホは持たせていませんが、持たせる際は、就寝前は見ながら寝ることのないよう、時間を決めて使うようにしたいです。友達とのやりとり等、顔を見て会話ができない分、誤解や気持ちが悪く伝わらない場合があるので、使い方を見ながら助言できたらと思います。
- ・まだ、持たせていないので、ルールは考え中です。SNSやLINEが原因で起こった事件があったときには、そのことについてどう思うか、自分が持つようになったらどうするか、など話し合いをしています。
- ・物事の善悪の分別がつくまでは、SNSの利用はできないよ、と伝えています。
- ・安心フィルタを使用しています。友達とLINEや電話番号を交換するときは相談すること。
- ・連絡を取り合う手段としては便利だけど、同時に危険もとなりあわせであると言いつけて聞かせています。メール等のやりとりは、発言がついいき過ぎたものになりがちだから、よく考えて言葉を選ぶように。もめごとに発展しやすいので心配なので。
- ・子供にスマホを持たせています。両親共フルで働いているため、あくまでも連絡用として持たせています。SNSは禁止、友達との連絡先の交換は先に親の確認をとること、スマホはいつでも親が見ると約束して持たせています。

- ・ネットは基本つながらないようにしています。LINEは友達、家族のみでトークのみ。誰と友達になっているか、親に内容を聞かれたら話す。隠さない。自分の写真は載せない。家が特定できるような写真も。自分では解決できない事や、いつもと違う不具合が起こった時は、すぐに大人に伝える。
- ・使用時間は6:00～22:00、動画は見れない、検索は子供用、アプリのインストールは申請制、歩きスマホは親に通知、服を着ていない写真は親に通知。 ←このルールでスマホを設定しています。あとは、LINEの言葉遣いに気をつけるように言っています。
- ・友達と遊びに行くときもケータイを持たせますが、必要な時以外はさわらないよう、あくまでも連絡をとる手段の1つと伝えてあります。
- ・自己責任にしています。管理しているところもありますが…。
- ・ダウンロードにロックをかけています。登録や投稿に関しても、勝手にしてはダメ！した場合は取り上げる約束をしています。今まで約束をやぶったことはありません。
- ・フィルタリングをかけている以外は特に決まりはないです。(グーグル検索ができないので不便そうですが)

③ 今回のような授業についてどう思われますか。ご自由にお書きください。

- ・この授業があったということ、いつまでも覚えていてほしいです。
- ・子供と話し合ういいきっかけになりました。
- ・今の時代、必要なことだと感じます。世界が広がることは素晴らしいですが、その分批判も受けやすい、そういったときに平常心でいられるよう心を強く持つてほしいなと思います。
- ・スマホ1つで簡単に知らない人とつながれたり、簡単に人を傷つけることができる時代に、心や体、SNSについて、家族以外と話しをしたり考えたりする機会は大切だったんだろうなと思いました。
- ・全学年で毎年開催してほしいです。
- ・親も参加したいです。子供たちがどんな話を聞いたのか、その時の子供の様子を見たいです。
- ・家庭で話すより、友達などたくさんの考えを知れてよかったと思います。意見交換をすることで、自分でもしっかりと考えられたはず。生きていく中で大切な内容、ありがとうございました。
- ・子供たちを取り巻く様々な問題を、早いうちから具体的に授業で扱ってくださることで、もし子供たちがその問題に直面したときに乗り越えていく術が見についていくと思います。
- ・私たちが子供の頃とは、コロナのことも含めて、人との関わり方が複雑になってきているのでとてもありがたいです。SNSに関しても、どんどん新しく更新されていくので、定期的に授業があることはとてもありがたいと思います。
- ・もっと自分を大切にしようと思えたり、自分の心と体の距離感を大事に保っていこうと思ったようで、今回の授業は、子供にとってプラスになり、うれしく思っています。わかりやすく伝えていただき、ありがとうございました。

・心も体も成長するにつれて、親から自然と自立していくようになるので、親としてもうまく距離をとりながら、でも1番の理解者であるように見守っていきたいと思います。授業で感じたことも話していましたが、きちんと自分の考えをもっていたので安心しました。これからはいろんなことを親子で話していけたらいいなと思います。

・大切な授業だと思います。親からばかり伝えていても、その重要性が薄れていくものです。他から子供に伝えていただくことは大事だと思っています。子供はどんなことも何度も何度も伝えることで理解してくれるものです。高学年になれば親が見えない時間も増えてきます。信用しているものでも不安はつきまといまいます。一歩引いて見守っていけるよう、学校のこういう授業は続けてほしいと思います。算数や国語も大事ですが、相手を思いやるそんな授業は大切だと思います。

・先生や友達と意見を出し合うのはとても大切なことだと思うので、すごく良いと思います。現に息子は6年生になってとてもいきいきしています！参観形式にして、私も聞いてみたいです。家ではなかなかこういう話をしないので・・・。



かつらぎ町立笠田中学校



## 1 指導モデルの概要

### (1) 概要について

文部科学省教材「生命（いのち）の安全教育 中学校」を参考として、事例に特化した独自の教材を作成した。

授業対象となる3年生の生徒は、昨年度に人権教育として「被害者を作らない」ことについて考えることに主軸を置いた授業を展開しており、性暴力・性被害で必要な知識については昨年度にある程度身に付けている。

そのため、今年度は「自分ならどうするか」「相手を尊重する態度が備わっているか」「間違っていることを違うよと言える大人になれるように」と考えられるように授業を進めることとした。

よって、本授業では前年度に学習した「被害者を作らない」ことに加えて、「加害者を生まない」「傍観者にならない」ことに焦点を当てた学習を行うこととし、ジェンダー・バイアスについての事例（男女の会話）やデートDVについての事例（男女の会話）を通じて対等な立場の築き方を考えさせ、アンガーマネジメントにより感情を相手にぶつけるだけでなくことや、アサーショントレーニングでどのようにすれば相手に自分のメッセージを伝えられるかということを取り入れることで、互いに自分の意見を伝えながら相手の意見や考えも大切にできる関係づくりが必要であることの重要性を学ぶこととした。

本授業を行う背景として、本校3年生の生徒は比較的落ち着いており、男女分け隔てなく話せる仲の生徒が多いものの、中学校3年生ともなると男女の交際が増えてくる年代であり、高校へ進学すれば新たな交友関係を築くことになることから、男女が対等であるためにはどのようなことが大切かということを考える力を身に付けさせ、その上で自分の意見をいかに適切に伝えるかが、性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないことにつながると知ってもらう必要があると考えた。



〔第二回 事前協議の様子〕

### (2) 授業の展開について

中学生の心理面の発達の特徴として、自我意識が発達してくるので自我を強く主張し、大人や社会への批判や反発が強く現れることがあり、不潔を嫌い、不正を憎む気持ちが強くなるなど理想を求めて努力するが、現実とのギャップが大きく挫折感を味わうことも多い。

また、自己顕示欲が強くなるために、目立つ言動をとる場合があるが、顔やスタイル、成績などで自他を比較して劣等感を強く持つ場合もある。

性や異性への興味・関心が高まるのもこの時期で、異性にあこがれ、異性の友との交際を求めようになり、男女ともに、異性と接したいという接近欲が高まる。

中学生の社会面の発達の特徴としては、自己実現の欲求が高まり、親や周りの人に依存することなく、自己の判断で行動を起こすようになり、生活場面や行動範囲も広がる。

また、友人関係を大切にし、今までと違った様々な友達と接することで、考えや趣味を同じくする友達と密接なつながりを築こうとする。

心理的な発達の特徴の面に表れているように、異性への興味・関心が高まることで、特定の異性との交際を望むようになり、デート等を行う者もあるが、理想と現実のギャップが大きく、異性の前で自分の気持ちを素直に表現しにくい時期でもある。

このように中学生期は、自己の心身の変化が著しい時期であり、個人差や男女差の大きい時期でもあるために、この著しい変化や個人差、男女差へのとまどいや不安が大きく、自己の殻に閉じこもりがちになったり、予期せぬ行動に走ったりすることもある。

また、自我の確立により、反抗期の特徴が強く現れる時期でもあるが、その反面、自己をよく見つめようとする心の動きが高まるために、物事をじっくり考え、心の交流を持とうとする内面の高まりがみられる時期でもある。

よって、これらの中学生期の特徴をよく理解させる中で、互いに生かし合える人間関係を育てるため、前述したジェンダー・バイアス、アンガーマネジメント、アサーショントレーニングなどを通じて、自分も相手も尊重し、対等な関係を作り、自分の気持ちを適切に伝えることができるための授業を行うこととし、それぞれのテーマで1時限ずつ、合計3時限で授業を展開することとした。

本校3年生は2クラスであるが、同じ教員が授業を行うことで内容に統一性をもたせることと、生徒も授業中に体調不良等を申し出やすいものと考えられたことから、一方の担任が2クラスの授業を受け持つこととした。

また、前年度の「被害者を作らない」学習では、友人がデートDVの被害に遭っていて、その相談を自分が受けたという想定で事例を作成していることから、今回のテーマについてはジェンダーに対する偏見や、自分の意見を伝えることの大切さを学べるよう、男女の会話を自分に置き換えて考えられるように、現実起こり得る男女のデート時の会話や、無料通話アプリのLINEで実際に男女間であり得るメッセージの一方的な連続送信等のやり取りを取り入れ、自分に起こり得る出来事と置き換えて考えてもらえるように工夫した。

### (3) モデル授業について

ジェンダー・バイアスの授業については、恋人同士の事例を考えてもらい、ワークシートに自分の意見を記載させることで、男であればこうしなければいけない、女であればこうしなければいけ



〔モデル授業の様子（1時限目）〕

ないという偏見を取り除き、知らず知らずのうちには何かの男女の偏見を持っていることや、その偏見がデートDVを引き起こす要因に繋がっていることを説明した。

本授業実施前に、ジェンダー・バイアスに関する事前アンケートを実施したところ、特定の質問について生徒の回答が偏っている傾向がみられた。

授業の後半においてアンケート結果を生徒と共有することで、本授業で確認したジェンダー・バイアスについて、男女それぞれの

ような意識を持っているか認識させることができ、偏見と自分らしさが異なるということを考えさせることができた。

アンガーマネジメントの授業については、恋人同士のLINEのやり取りから、相手が一方的にメッセージを連続投稿する事例を作成し、自分の気持ちをうまく伝えるためにはどうしたらよいか考えてもらうこととし、生徒には、送信者、受信者がそれぞれどのような気持ちになったか、相手に不満を感じた時に大切なことなどを学んだ。

多数の生徒が普段から使用しているであろうLINEのトーク画面を使用することで、生徒も事例に入り込みやすく、自分の気持ちはどうすればうまく伝わるか、ということをも自分に関係する事柄として考えさせることができた。

また、相手への気持ちの伝え方には「Iメッセージ」「YOUメッセージ」があり、「Iメッセージ」をうまく使いこなせると相手に気持ちが伝わりやすいことを学び、実際にロールプレイすることで気持ちの伝わり方を体験させることができた。

アサーショントレーニングの授業では、授業の冒頭に生徒に対して15の質問を実施し、コミュニケーションタイプ診断を行い、アグレッシブ（攻撃的）、ノンアサーティブ（非主張）、アサーティブ（自分も相手も尊重できる）の3種類のどのタイプに生徒が該当するか診断し、自分を知らせてもらうきっかけとした。

その後、恋人同士の会話を示し、どの部分に問題があるかをワークシートに記載したうえで、隣の人と話し合って意見交換してもらった。

ワークシートに記載しにくい、または自分の考えがまとまらない生徒については、授業者が寄り添ってアドバイスすることで生徒を助けた。

また、アサーティブに会話するとどのようになるかを、クラス内の誰とでもよいので実際に事例の男女に互いに成りすまして会話してもらったところ、生徒は男女分け隔てなく積極的に席を立て、色々な人と自分の考えについて会話している様子であった。

授業の後半には、授業者から自身の経験でコミュニケーション不足による失敗談を話してもらい、お互いにアサーティブなコミュニケーションができていないと、一人で考え込んでしまい苦しい思いをすることになると話し、締めくくりとして授業の感想をワークシートに記載してもらった。



〔モデル授業の様子（3時限目）〕

#### （4）課題等について

モデル授業終了後、外部講師、県教育委員会指導主事、担当教員、管理職などが研究協議に参加し、担当教員が授業を展開するための工夫、構成理由等を説明したうえで、意見交換等を行ったところ

- ・学校全体の動きとして、生徒同士のペアワークや意見交換を普段の授業から取り入れて

いることから、今回の授業でもスムーズにペア学習やロールプレイを実施できた

- ・授業中に話した、授業者のアサーティブコミュニケーションの失敗談で授業を締めくく  
ることで、生徒に対して本授業の大切さが伝わった
- ・どのような事例を作れば生徒に伝わりやすいかを考えており、男女のデートであり得る  
会話や、LINEのトーク画面に模したメッセージのやり取りを使っており、比較的  
生徒が理解しやすい事例であった
- ・Iメッセージ、YOUメッセージで気持ちの伝わり方が異なることをしっかり生徒に伝  
えられている
- ・限られた時間の中で取り組んだ授業となるが、保護者への事前説明では特に反対的な意  
見はなかった

等の意見が挙げられた。

さらに、

- ・本授業は、すぐに結果として現れるもの  
ではないが、生徒自身が今後のデートや男女  
関係を構築する際の会話でどのように活  
かすことができるかという学習となるこ  
とから、今後も継続することで生徒に浸透  
させることが大切である

との意見があり、課題となる点も挙げられた研究協  
議となった。



〔研究協議の様子〕

## 2 子供たちの変容等

### (1) アンケート結果の比較における生徒の変容

本校は、過去の授業において、学習のねらいを「性別に関する先入観や偏見をなくし、男女が互いに尊重し、自立した対等な関係づくりを進めようとする態度を養う」と設定していた。

今回は、考えを一層深めることを学習のねらいとしていることから、自分事として捉えやすいよう記述式にも対応できるアンケートへと改善を図った。

アンケートを比較すると、「No. 2『男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきである』」や「No. 4『男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよい』」の質問で、「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」と回答する男子生徒数の増加していた。

このことは、第1時「ジェンダー・バイアス」の授業を終えた感想にも表れていた。

自分自身が「そうになりたい」と思い、男らしさを求めること自体は自然であるが、個人レベルで確認していくと、女性に対してのジェンダー・バイアスがかかっている可能性がある生徒も見られた。このことから、第1時では自分の持つジェンダー・バイアスを相手へ押しつけることに関して、もう少し踏み込んだ指導を行うべきだったと考える。

また、自らにも「男らしさ」を求め続けた結果、自分自身を追い詰めてしまわないか懸念されるため、今後の男子生徒の言動について注視していきたい。

さらに、「No. 20『交際相手から暴力を振るわれたら、相談しますか?』」の質問では、「誰にも相談しない」を選択している生徒が、5名から1名に減少していた。

授業の終末に「相談しないことでかなり苦しい思いをした」という授業者の体験談を聞いたことで、生徒も相談することの重要性について理解できたのではないかと考える。

同質問を項目別に見ると、「友人に相談する」を選択している生徒の割合が増加していた。これについては、昨年度、相談された場合の事例で授業を行っていたが、そのことを意識した授業展開が再度できればよかった。

加えて、友人にも相談できない場合は県内の相談機関が利用できることについても、改めて触れることができればよかった。

なお、女子生徒の集団においては、事後アンケート結果から、男性へのジェンダー・バイアスが大きく減少していたと捉えられる。

授業を受けている様子でも、特に女子生徒が真剣に考えてくれている態度が見られ、事後アンケートの回答を通して改めて自身の認識について振り返ることができたと感じた。

## (2) 授業を終えて

本事業の取組は、単年度の取組ではなく、昨年度から2年間かけて積み重ねてきた取組であると捉えている。

アンケートについても、昨年度と同様の内容で実施したが、昨年度のアンケート結果ではジェンダー・バイアスを強く示している項目がいくつかあったため、今回の授業計画でジェンダー・バイアスについても取り入れた。

また、自分の気持ちを適切に表現することに課題のある生徒もいるため、「Iメッセージ」や「アサーション」など、様々な方法があるということを学ぶことができた。

今は実感のわかない生徒もいると思うが、いつの日か人生において役に立つ場面があればと願っている。

## 3 その他

### (1) 教職員研修について

「生命（いのち）の安全教育」については、学校が一体となって取り組まなければならない、対象となる3年生の担任だけでなく、学校全体の教職員が同教育に関する理解を深める必要があったことから、「生命（いのち）の安全教育」が実施されることとなった背景や、性暴力の現状について知る必要があった。

さらに、性に関する指導を行うにあたっての留意点や問題、子供の実態について、学校として共通認識を持つ必要が認められたことから、当校の「生命（いのち）の安全教育」を助言・指導いただいている入駒教授と、県警から出向中の県教育委員会指導主事から、上記課題についての講義を依頼した。

県警から出向中の県教育委員会指導主事からの講義では、「生命（いのち）の安全教育」が行われることとなった背景や、そのきっかけの一つとなった平成29年の刑法改正のこと、いまだ課題として「性交等の同意年齢が13歳以上」と世界的に見ても低年齢であることや、性的虐待の現状などについて話をしてもらい、さらに児童虐待の加害者には実父の割合が多いこと等、教職員では中々知り得ない性加害者の特徴、性被害に遭った場合の相談先についての説明を受け、児童虐待の被害者、性被害者の心境について学ぶことができた。

入駒教授からは、性の指導において重要なジェンダーの問題や、世界の性教育の現状、性被害者の現状等について講義を受けた。

講義の後半では、性暴力がいかに打ち明けにくいものか、性暴力が起こる背景には対等でない関係があり、騙す、脅す、言いくるめること等で医師や教師、父親から性暴力を受けることや、性被害者に関する統計からも被害者の5割が未成年であることの説明を受け、性暴力を根絶するためには、幼少期から自身を大切にすることを浸透させる教育が必要であると実感させられた。

参加した教職員からは「普段知ることのない警察官からの話や、性被害者の現状、性被害が打ち明けにくいものであること等の講義を受け、生命の安全教育を行ううえで大切なことを教職員で共有できた。」等の感想があり、生命（いのち）の安全教育の重要性を認識することができた。



〔教職員研修の様子〕

**(2) 指導案、パワーポイント資料、アンケート結果、年間指導計画等について**  
別添のとおり



## 学級活動 指導案

- (1) 題材名 「お互いを尊重するために」
- (2) 学 年 中学校3年生
- (3) 指導事項 特別活動 学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応
- (4) 題材について

### 【題材設定の理由】

- ・本校では、昨年度、人権教育として「男女平等の問題」について3時間構成で扱い、題材目標を「性別に関する先入観や偏見をなくし、男女が互いに尊重し、自立した対等な関係づくりを進めようとする態度を養う」と設定し、「デートDV」の具体を取り上げた授業実践を行った。その際に、いくつかの事例から問題点を考えたり、ロールプレイをしたりする学習を通して、「被害者を作らない」ことについて考えることを主軸に置いた授業を展開した。これらの学習を通して、生徒たちは「交際するにあたって、それぞれが対等であるためにはどのようなことが大切か」について、自分事として考える力が身に付いてきた。
- ・本題材では、これまでの理解を一層深めるため「加害者を生まない」、「傍観者にならない」ことの視点に焦点を当てた学習を行う。ジェンダー・バイアスについて事例を通して考えさせたり、アンガーマネジメント、アサーション・トレーニングも取り入れたりすることで、改めて対等な関係の築き方や、それぞれの生命の大切さについて考えさせ、より一層互いを尊重する思考や態度を育みたい。

### 【「性暴力」というテーマを取り扱う上での配慮・留意事項】

- ・すでに被害を受けている生徒がいるかもしれないと意識すること。授業の中で、二次被害を受けることのないよう配慮が必要である。
- ・過去に性暴力に遭った生徒がいることを把握している場合、授業前に個別に声をかけて授業に参加するかどうかは自分で決めてよいと伝える。また、学校側が把握していなくても、性暴力の被害に遭ったもしくは遭っている生徒がいる可能性を十分に考慮し、気分が悪くなった場合は授業中にいつでも退席してよいことを伝えるとともに、配慮が必要と思われる生徒がいれば授業中の様子を特に注意深く見守る。可能であれば、養護教諭が授業に立ち会い、生徒の様子を見て適宜フォローする。
- ・授業後に生徒からの相談があった場合のフォローアップについて、校内の関係者（担任、養護教諭、スクールカウンセラー、管理職等）で情報共有を行っておく。

(5) 授業計画 (全3時間)

事前	アンケート実施・分析
第1次	第1時 ・ジェンダーバイアスの事例から考える。 ・アンケート結果から、自分達のジェンダーバイアスについてふりかえる。
第2次	第1時 ・前時の感想紹介 ・アンダー・マネジメントについて学習する。 ・アイメッセージについて学習する。 ・Iメッセージを使ったのロールプレイング 第2時 ・前時の感想紹介 ・アサーションについて学習する。 ・アサーションの練習をする。 ・意見交流 ・まとめ
事後	アンケート実施・分析、感想紹介

(6) 展開

(1 / 3時間目)

【WS…ワークシート】

	学習内容・活動	指導上の留意点	教材等
導入	・学習上の注意点	・学習中に不調を来して退出したい等の場合は教師に申し出てよいこと等を伝える。	
	・授業のねらいを知る	・授業のねらいと授業内容を説明する。	
展開	・ジェンダーバイアスについて考える	・ある恋人同士の会話を黙読させ、その後再現会話を聞かせる。 ・社会の中における「男らしさ・女らしさ」について考えさせ、デートDVが起きる社会的な要因に繋がっていることを説明する。	WS①
	・アンケート結果を確認する	・事前アンケートの結果を通して、自分達の集団の中にあるジェンダーバイアスについて確認させる。	
まとめ	・本時のまとめ	・本時の感想や気が付いたことを記入させる。 ・次時の予告をしておく。	WS①

## (2 / 3 時間目)

	学習内容・活動	指導上の留意点	教材等
導入	・学習上の注意点	・学習中に不調を来して退出したい等の場合は教師に申し出てよいこと等を伝える。	
	・授業のねらいを知る	・授業のねらいと授業内容を説明する。	
展開	・アンガーマネジメントについて学習する	・LINEメッセージのやりとりを見て考えさせる。 ・アンガーマネジメントにおいて大切なことを説明する。	WS②
	・Iメッセージの学習	・教員のロールプレイを示す。 【事例】遅刻癖のある恋人に対して、不満を伝える。 (Iメッセージ、Youメッセージの2パターン) ・それぞれの言われた側の気持ちを比較させる。 ・Iメッセージの説明をする。	WS②
	・Iメッセージの練習	【事例】遊ぶ約束をしていた友人が、当日家の用事で断りを入れてきたが、後日別の友人と遊んでいたことが分かった。 ・ロールプレイングをさせる。	WS②
まとめ	・本時のまとめ ・次回の予告	・対等な立場で、互いに自分の意見を伝えながら、相手の意見や考えも大切にできる関係づくりが必要であることを説明する。 ・学習全体を通しての感想や、気づいたことについて記入させる。  ・さらに互いを尊重するために必要なことについて考えていくことを伝える。	WS②

## (3 / 3 時間) 本時

	学習内容・活動	指導上の留意点	教材等
導入	・学習上の注意点	・学習中に不調を来して退出したい等の場合は教師に申し出てよいこと等を伝える。	
	・授業のねらいや全体像を知る	・授業のねらいと授業内容を説明する。	教材
展開	・アサーションについて学習する	・前時の感想紹介 ・自分のコミュニケーションタイプについてふりかえらせる。 ・3つのコミュニケーションタイプについて説明する。	WS③ スライド資料
	・アサーション・トレーニングをおこなう	・事例から、問題点や、ふたりの考えや気持ちを考えさせる。 ・ふたりの会話をアサーティブ・コミュニケーションでおこなうと、どのようになるかを考えさせる。	
まとめ	・本時のまとめ ・全体のまとめ	・アサーティブなコミュニケーションをおこなうことで、相手のことを尊重しながら自分の思いを伝えられることを確認させる。 ・学習全体を通しての感想や、気づいたことについて記入させる。	WS③

## (6) 授業の進め方の工夫、ワークのポイント

### 【授業の進め方の工夫】

- ・事例は、被害者が中学生、部活での出来事等、身近にありそうな設定にして他人事にならないようにする。
- ・性暴力は、対等な人間関係が崩れて「上下・主従関係」が生まれることで起こると理解させることが重要である。そのため、教師と生徒も人として対等な関係であることを意識しながら、授業を進める必要がある。
- ・教師からの一方向のみではなく、教師と生徒の双方向や生徒間での対話が生まれるよう、ワーク等を取り入れる。

### 【ワークを行う際のポイント】

- ・生徒が、他の人の考え方を尊重しながら、意見や考えの違いを認め合うようにする。
- ・特に配慮が必要と思われる生徒がいれば、グループ分けにあたり十分考慮する。
- ・被害経験のある生徒がいる可能性を考慮し、気分が悪ければ無理にワークに参加しなくてよいことを伝える。
- ・共学で授業を行う場合は、グループ内の性別が偏らないように留意する。
- ・授業の感想として被害経験を伝えてくる生徒がいる可能性を考慮し、授業の感想シート等を回収する際は、他の生徒に内容を読まれないよう十分注意する。

## (7) 参考資料

- ・内閣府  
「令和2 年度男女間における暴力に関する調査」  
[https://www.gender.go.jp/policy/no\\_violence/e-vaw/chousa/h11\\_top.html](https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/chousa/h11_top.html)
- ・内閣府  
「人と人とのよりよい関係をつくるために 交際相手とのすてきな関係をつくっていくには」  
[https://www.gender.go.jp/policy/no\\_violence/violence\\_research/yobou/kyozai.html](https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/violence_research/yobou/kyozai.html)
- ・江戸川区 デートDV予防スライド4  
「その怒りは誰のもの？ つき合っている相手に対してイライラしてしまう人へ」  
<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/documents/25813/cp-004.pdf>
- ・江戸川区 デートDV予防スライド5  
「人と人とのよりよい関係について一緒に考えよう アサーティブ・コミュニケーション編」  
<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/documents/25813/cp-005.pdf>

〇〇らしさってなんだろう？

## (1) 次の会話を読んでみましょう。

- A 今度の日曜日のデート、一緒に富士急ハイランドに遊びにいきましょうよ！
- B ええやん、富士急やったらやっぱジェットコースターやな。
- A それもいいけど、お化け屋敷も怖いって言うやん。入ろうよ！
- B ええやん！でも、めっちゃ怖いって聞くけどいいけるんかな？
- A 大丈夫やって、しっかり手繋いでてあげるやんか。
- B ほんま？それ絶対守ってや？一人で行くとか絶対やめてよ？
- A 任しといて！いやあ、楽しみやな！
- B うん、楽しみ！

それでは、会話を再現してみます！

## (1) 会話再現タイム

- A 今度の日曜日のデート、一緒に富士急ハイランドに遊びにいきましょうよ！
- B ええやん、富士急やったらやっぱジェットコースターやな。
- A それもいいけど、お化け屋敷も怖いって言うやん。入ろうよ！
- B ええやん！でも、めっちゃ怖いって聞くけどいいけるんかな？
- A 大丈夫やって、しっかり手繋いでてあげるやんか。
- B ほんま？それ絶対守ってや？一人で行くとか絶対やめてよ？
- A 任しといて！いやあ、楽しみやな！
- B うん、楽しみ！

黙読したとき、会話を再現したときとを比べて、  
 感じたことや考えたことを書いてみましょう。

(2) 次の1～20の言葉や行動は、社会の中では「男らしさ・女らしさ」の  
 どちらに当てはまると考えられますか？分けてみましょう。

- |        |            |           |         |
|--------|------------|-----------|---------|
| 1 活動的  | 2 おとなしい    | 3 リーダーシップ | 4 従順、従う |
| 5 経済力  | 6 家事       | 7 弱音を吐かない | 8 強がらない |
| 9 決断力  | 10 人の意見を聞く | 11 度胸     | 12 愛嬌   |
| 13 闘争心 | 14 協調性     | 15 守る     | 16 守られる |
| 17 理性的 | 18 感情的     | 19 強い     | 20 やさしい |



ジェンダー・バイアス（社会的・文化的につくられた性差に基づく偏見）

ジェンダー・・・いわゆる「男らしさ・女らしさ」のこと

バイアス・・・偏見・先入観のこと

ジェンダー・バイアス  
 について考えてみよう

(3) ワークシートの事例はどのようなジェンダー・バイアスがもとに起こっていると思いますか？ スライドの1～20の項目から選んでみましょう。(複数選択可)

- |    |     |    |         |    |         |    |       |
|----|-----|----|---------|----|---------|----|-------|
| 1  | 活動的 | 2  | おとなしい   | 3  | リーダーシップ | 4  | 従順、従う |
| 5  | 経済力 | 6  | 家事      | 7  | 弱音を吐かない | 8  | 強がらない |
| 9  | 決断力 | 10 | 人の意見を聞く | 11 | 度胸      | 12 | 愛嬌    |
| 13 | 闘争心 | 14 | 協調性     | 15 | 守る      | 16 | 守られる  |
| 17 | 理性的 | 18 | 感情的     | 19 | 強い      | 20 | やさしい  |

(4) 1～20の項目を「自分にあてはまるもの・あてはまらないもの」に分けてみましょう。

- |    |     |    |         |    |         |    |       |
|----|-----|----|---------|----|---------|----|-------|
| 1  | 活動的 | 2  | おとなしい   | 3  | リーダーシップ | 4  | 従順、従う |
| 5  | 経済力 | 6  | 家事      | 7  | 弱音を吐かない | 8  | 強がらない |
| 9  | 決断力 | 10 | 人の意見を聞く | 11 | 度胸      | 12 | 愛嬌    |
| 13 | 闘争心 | 14 | 協調性     | 15 | 守る      | 16 | 守られる  |
| 17 | 理性的 | 18 | 感情的     | 19 | 強い      | 20 | やさしい  |

(5) 「男らしさ・女らしさ」に分けた結果と、「自分にあてはまるもの・あてはまらないもの」に分けた結果の違いや、アンケート結果から気づいたことを書いてみましょう。

(6) 今日の感想(気づいたこと・考えたこと)

(7) 自分への振り返り

# 〇〇らしさ、ってなんだろう？

## (1) 次の会話文を読んでみましょう。

- A 今度の日曜日さ、一緒に富士急ハイランドに遊びにいこうよ！  
B ええやん、富士急やったらやっぱジェットコースターやな。  
A それもいいけど、お化け屋敷も怖いって言うやん。入ろうよ！  
B ええ・・・、怖いのが苦手だから嫌やなあ。  
A 大丈夫やって、手繋いでてあげるやんか。  
B ほんま？それならいいけど・・・、それ絶対守ってや？一人で行くとか絶対やめてよ？  
A 任しといて！いやあ、楽しみやな！  
B うん、楽しみ！

会話を聞く前までは、Aが男性でBが女性だと思っていた。再現してくれた会話だと、Bが男性だったので、内容から思い込んでしまっていると気づいた。

なぜ会話を聞くまではAを男性だと思っていたのかを考えると、男の人に対する思い込みがあるような気がするからだと感じた。

## (2) 次の1～20の言葉や行動は、社会の中では「男らしさ・女らしさ」どちらに

あてはまると考えられていますか？分けてみましょう。

- |        |            |           |         |
|--------|------------|-----------|---------|
| 1 活動的  | 2 おとなしい    | 3 リーダーシップ | 4 従順、従う |
| 5 経済力  | 6 家事       | 7 弱音を吐かない | 8 強がらない |
| 9 決断力  | 10 人の意見を聞く | 11 度胸     | 12 愛嬌   |
| 13 闘争心 | 14 協調性     | 15 守る     | 14 守られる |
| 17 理性的 | 18 感情的     | 19 強い     | 20 やさしい |

男らしさ	女らしさ



ジェンダー・バイアス (社会的・文化的につくられた性差に基づく偏見)

ジェンダーとは・・・いわゆる「男らしさ・女らしさ」のこと

バイアスとは・・・偏見・先入観のこと



# ジェンダー・バイアスについて考えてみよう

## (3) 次の事例はどのようなジェンダー・バイアスをもとに起きていると思いますか？

スライドの1～20の項目から男性へのジェンダー・バイアス、女性へのジェンダー・バイアスについてそれぞれ選んでみましょう。(複数選択可)

### ◆例1

彼氏は男らしくて頼れる存在。でも、彼の言うとおりにしないと怒鳴ったり、腕を強くつかんできたりして怖いから逆らえない。

女性へのジェンダー・バイアス
男性へのジェンダー・バイアス

### ◆例2

デートの食事代は彼氏が出すもの。記念日や彼女の誕生日には彼女が喜ぶプレゼントをしてくれない彼氏なんてガッカリ。

女性へのジェンダー・バイアス
男性へのジェンダー・バイアス

## (4) 1～20の項目を「自分にあてはまるもの・あてはまらないもの」に分けてみましょう。

自分にあてはまるもの	自分にあてはまらないもの

## (5) 「男らしさ・女らしさ」に分けた結果と、「自分にあてはまるもの・あてはまらないもの」に分けた結果の違いや、アンケート結果から気づいたことを書いてみましょう。

「自分にあてはまる・あてはまらない」で分けると、人によってそれぞれちがった。ただ、アンケートを見るとやっぱり社会的な「男らしさ・女らしさ」を意識している人も多いし、自分もそう思うことがあった。

## (6) 今日の感想 (気づいたこと、考えたことなど)


## (7) 自分への振り返り (当てはまる場所に丸印をつけましょう。)

- |                    |                          |                          |                          |                          |
|--------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ① 今日のテーマについてよく考えた。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ② 他の人の意見をよく聞いた。    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③ 自分の考えを表現した。      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④ 自分の考えを深めた。       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

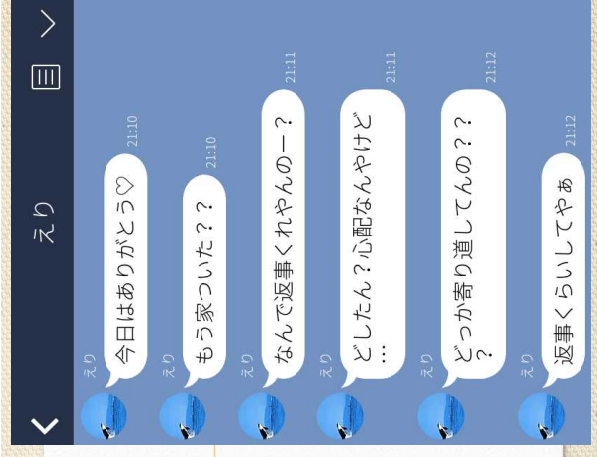
とてもそう思う

そう思わない

## 前回の感想紹介

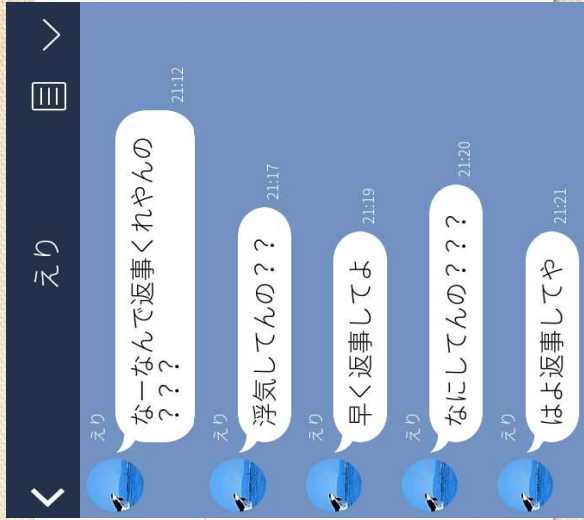
- 「自分は自分らしく」が一番大切だと思った。
- 男だって弱音を吐いていいし、女が男を守ってもいいと思った。
- 男らしさや女らしさの偏見は、自分が気づかないうちに自分の中で決めつけてしまっていたことに気づいた。
- 自分の考えていることが合っていることなのか、行動する前にしっかりと考えないと、思った。
- 無意識に偏見が頭の中に出てきてしまう。(中略) どうやってたならなくなるんだろうか、...
- 自分の偏見を相手に押しつけてはいけないと分かった。
- 男だから、女だからといういろんな偏見にさらされながら生活することは、自分は苦しいです。しかし、逆にそれがいいって言う人もいるのかなと思いました。
- 偏見のせいで精神的に追い詰められる人も出てくるかもしれないから、偏見をもつのはおかしいと思った。
- 私は、女の子はひかえめな方がいいと思うていたから、これこそジェンダー・バイアスだと思った。
- 今の時代、みんな自分のしたいことをしていいと思うから、偏見に左右されずやりたいことをしたい。

(1) 次の事例から考えてみよう。

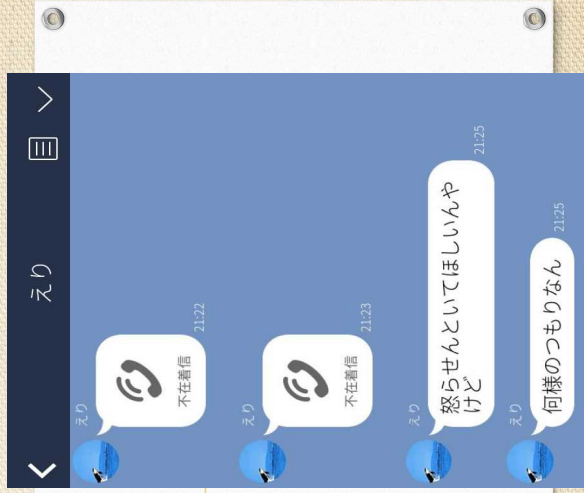


自分の気持ちを  
うまく伝えるためには?

(1) 次の事例から考えてみよう。



(1) 次の事例から考えてみよう。



(1) 次の事例から考えてみよう。



## ◆えりさんはどのような思いからメッセージを送っていたのでしょうか。

つかさが心配 返事がなくて不安 嫌われたのかな  
返事をくれないのはもう好きじゃないから?  
裏切られた気持ち どうしたらいいんだろう...  
返事しなかったことを謝ってほしい  
むかつく 何をしているのか知りたい  
すぐに返事をしない方が悪い

## ◆メッセージを受け取ったつかささんは どんな気持ちだったでしょうか。

めっちゃ怒ってる... すぐに返事できなくてごめん  
なんでこんなに怒っているんだろ  
ちよっと息苦しいな 明日学校で何て言われるかな...  
自分だけの時間もほしいけど、そんなこと言ったらもっと怒られそう...  
でも好きだし、嫌われたくないな... ほかの人もこんな風に怒られているのかな  
これって愛されてるってことなのかな  
これからはいつでも返事できるようにしよう

## ◆相手に不満やイライラを感じてしまったときに大切なこと

- ・深呼吸をして、カッとなつてしまった気持ちを落ち着かせてみよう。
- ・相手にも事情があったのかもしれないと考えて、相手を尊重しよう。
- ・怒ったときにどうしているか、友だちに聞いてみよう。

・怒りではなく、自分の気持ちを伝えられるように練習してみよう。



## アンガーマネジメント

## (2) 自分の気持ちをうまく伝えるための方法を試してみよう！

### 【例題】

- ◆えりさんには1年間付き合っている恋人がいます。  
ただ、恋人は待ち合わせの時間に遅れてくることが多く、今日のデー  
トのときもいつものように遅れてきました。えりさんが恋人に自分の  
思っていることを伝えるときの言い方で、AとBの二つのパターンが  
考えられます。  
それぞれ、言われた恋人の気持ちを考えてみましょう。

**A** ほんまいつまでたっても遅刻してくるの治らんよな。何考えてんの？  
こつちがどんだんだけ待たされていると思ってるねん。いつつもいつつも。  
わたしの予定も考えてくれへん？ほんま悪いわいわ...

## ↑ Youメッセージ

**B** よく遅刻されるから、大事にされているように感じられなくて、  
とても不安。待っている間は一人で寂しいし...。約束した時間が  
厳しいなら、約束をするときにそう言うってくれると嬉しい。そう  
したら、わたしも別の予定を組んでおけるから。

## ↑ Iメッセージ

アメリカの心理学者 トマス・ゴードン氏が  
考えたコミュニケーションの技法の一つです。

## ◆Iメッセージ作成のポイント

- 相手の好ましくない行動 → よく遅刻してくる。  
今回も待ち合わせの時間に遅れてきた。
- そのときの自分の心情 → 心配、不安、怒り、困惑
- 心情の理由 → 約束を守ってもらえていないから  
自分のことが好きなのかわからなくなることから  
大事にされていないような気がするから  
何かあったのではないかと思うから

## 【例題】

よく遅刻されるから、大事にされてきているように感じられなくて、**とても不安**。待っている間は一人で**寂しい**し…。約束した時間が**厳しい**なら、約束をするときに**そう言う**てくれると**嬉しい**。そうしたら、わたしも別の予定を組んでおけるから。

## ◆実際にIメッセージの練習をしてみましょう。

遊ぶ約束をしていたEさんが、当日の朝に家の用事ができたと断りの連絡をしてきました。  
しかし後日、遊ぶ予定だった日にEさんがTさんと遊んでいたことが分かってしまいました。

## EさんへのIメッセージを考えてみましょう！

## ◆実際にIメッセージの練習をしてみましょう。

- 相手の好ましくない行動 → 断る理由を正直に話してくれなかったこと  
約束していたのにTさんと遊んでいたこと
- そのときの自分の心情 → 寂しさ、困惑、怒り、残念
- 心情の理由 → 正直に言ってもらえなかったから  
自分もEさんと遊びたかったから  
仲間はずれにされてしまったと思ったから

◆ Iメッセージを作成するとき考えたこと

◆ 実際にロールプレイをしてみよう！

① Youメッセージで伝えてみると...？

(例) なんで嘘ついて遊んでたん？

ちやんと言ってくれへんのが悪いやん。

嫌やったら約束したときに断つたらいいのに。

どうせわたしのことなんか嫌いなんやろ。

② 作成したIメッセージで伝えてみよう！

◆ ロールプレイを通して考えたこと

(3) 今日の感想(気づいたこと・考えたこと)

(4) 自分への振り返り

## 自分の気持ちをうまく伝えるためには？

### (1) 次の事例から考えてみよう。 ※スライド参照

◆えりさんはどのような思いからメッセージを送っていたのでしょうか。

- ・相手のことを心配している ・返事がないのは嫌われてしまったのか？という不安
- ・裏切られた ・ムカつく ・すぐに返事をしてほしい ・どこにいるんだろう

◆メッセージを受け取ったつかさんはどんな気持ちだったのでしょうか。

- ・どうしてこんなに怒っているんだろう ・自分が返事をしなかったから怒らせてしまった
- ・こんなに自分のことを気にしてくれているのは愛情ってこと？ ・息苦しい
- ・怒らせてしまって申し訳ない ・これからはすぐに返事をしなきゃ・・・

◆相手に不満やイライラを感じてしまったときに大切なこと

- ・深呼吸をして、カッとなってしまった気持ちを落ち着かせてみよう
- ・相手にも事情があったのかもしれないと考えて、相手を尊重しよう。
- ・怒りではなく、自分の気持ちを伝えられるように練習しよう。
- ・友だちは怒ったときにどうしているか、聞いてみよう。

☞こういった方法は、（ アンガーマネジメント ）と呼ばれています。

### (2) 自分の気持ちをうまく伝えるための方法を試してみよう！

◆AとBで、それぞれ言われた側はどんな気持ちだったでしょう？

A

遅れてきてしまった自分が悪いけれど、  
そこまで怒らなくてもいいんじゃないかな  
こっちにも事情があるときもあるのに

B

そんなふうには思っていたんだ…  
軽い気持ちだったけど申し訳ないな

☞

☞

◆実際に練習してみましよう！

遊ぶ約束をしていたEさんが、当日の朝に家の用事ができたという連絡をしてきました。しかし後日、遊ぶ予定だった日にEさんがTさんと遊んでいたことが分かってしまいました。

相手の好ましくない行動…（ 正直に理由を言わずに、Tさんと遊んでいた ）

そのときの自分の心情 …（ 裏切られた、寂しい、悲しい、怒り など… ）

心情の理由 …（ 断る理由に嘘をつかれた、自分も一緒に遊びたかった ）

Iメッセージにしてみると…

実は、Tさんと遊んでいたことを聞いてしまって…。家の用事だと思っていたから  
悲しかったよ。本当のこと、教えてくれたほうが自分は嬉しいな など

◆ Iメッセージを作成したときに意識したこと

自分の気持ちに正直になること

相手のことを責めないように、主語を「わたしは」にすること

どうして嘘をついたの？という聞き方だと自分が主語にならないからそこに気を付けた  
など

◆ 他人のIメッセージ

( ) さん

( ) さん

( ) さん

( ) さん

(3) 今日の感想（学んだこと、気づいたこと、考えたことなど）


(4) 自分への振り返り（当てはまる場所に丸印をつけましょう。）

- ① 今日のテーマについてよく考えた。
- ② ほかの人の考えをよく聞いた。
- ③ 自分の考えを表現した。
- ④ 自分の考えを深めた。


とてもそう思う そう思わない



## 前回の感想紹介

● Iメッセージを作っていて、気づかないうちに最初からYouメッセージになってしまっていて難しいと思った。

- 相手にイライラしたり、疑問や不安に思うことがあっても、いったん落ち着いて言い方を考えてから自分の気持ちを伝えることが大切だと思った。そうしたら、相手も素直に受け止めてくれるだろうから、お互い悪い気持ちにはあんまりならないと思った。
- Youメッセージは自分が言われても気分がよくないし、自分が相手に伝えたとくも後悔しそうだから、時と場合を考えて使い分けたい。
- Iメッセージでも、言ったら相手が傷つくかなと思ってしまうことも多いけど、今後の関係を考えると思っていることを相手に伝えられる方が一緒に過ごしやすいし、良い関係を保てると思う。
- イライラしているとYouメッセージになりがちだと気づいたので、まずはアンガーマネジメントから身に付けた方が良かった。
- 最初の事例のように人それぞれ価値観が違うので、すぐに怒って相手に迷惑をかけるいようにしたい。でも、価値観が違うからといっても簡単に約束を破ることも間違いないので、勘違いもしないようになりたい。

自分も相手も尊重できる  
伝え方を考えてみよう

(1) 自分のコミュニケーションタイプについて考えてみよう

次の【項目A】～【項目C】の質問で、

○の数をかぞえてみよう。

### 【項目A】

- ①人に弱みを見せることにためらいを覚えがち
- ②人のミスや良くないところを指摘することが多い
- ③自分の思った通りに物事が進まないと腹が立つ
- ④人への主張が激しくなりやすい
- ⑤自分の意見を否定されたとき、強く怒ってしまう

### 【項目B】

- ①人前に出たり意見を言ったりすることが苦手
- ②自分に自信を持つことができない
- ③人に合わせて行動し、自分の意見を押し殺してしまうことがある
- ④人に認めてもらいたいと強く思うことがある
- ⑤人に自分の意見を否定されたとき、強く返せず受け入れてしまう

### 【項目C】

- ①人に対して自分の正直な気持ちを話すことに抵抗がない
- ②いつでも能動的に行動できる
- ③たくさんの方がいる場所でも自分の意見が言える
- ④あまり得意なタイプではない人とも自然に話せる
- ⑤自分を否定されてもネガティブにならず、人の意見を受け入れられる

### ◆3つのコミュニケーションタイプについて

- ①アグレッシブ（攻撃タイプ）
- ②ノン・アサーティブ（非主張タイプ）
- ③アサーティブ（自分も相手も尊重できるタイプ）

## (2) アサーションで大切な考え方

- 誠実** . . . . 自分にも相手にも誠実であること
- 率直** . . . . 気持ちや要求を伝えるときは、きちんと相手に伝える形でおこなうこと
- 対等** . . . . 自分を卑下したり、相手を見下したりしないこと
- 自己責任** . . . . 自分の行動の結果を、自分で引き受けること

## (3) 前回の事例をふりかえってみて . . . .

### 【例題 ※再掲】

◆ えりさんには1年間付き合っている恋人がいます。ただ、恋人は待ち合わせの時間に遅れてくることが多く、今日のデートのときもいつものように遅れてきました。えりさんが恋人に自分の思っていることを伝えるときの言い方で、AとBの二つのパターンが考えられます。それぞれ、言われた恋人の気持ちを考えてみましょう。

## 【事例1】

B：日曜日にデートせえへん？久しぶりに出かけようよ。  
A：日曜日？ごめん、その日部活あるんよなあ。  
B：えー、部活？休んでデート行こうや。  
A：大会近いから練習試合入ってるんよ。  
**B：はあ？恋人と部活どっちが大事なん？**  
A：この練習試合でスタメン決められるから、休みたくないんよなあ…。  
B：お前へたくそやのに練習してもスタメンならねへんって、そんなもわからんの？  
A：…じゃあ、休むよ…。

## 【前回の事例より Iメッセージを使うと…】

よく遅刻されるから、大事にされてるようには感じられなくて、**とても不安**。待っている間は一人**寂しい**し…。約束した時間が**厳しい**なら、約束をするときにそう言ってくれれば**嬉しい**。そうしたら、わたしも別の予定を組んでおけるから。

### 【事例1】デート以外の提案パターン

B：そっか…。寂しいけど、大会近いんやったら部活頑張ってほしいしな。じゃあ、平日とかに練習終わってから一緒に帰りたいな。どう？

B：そっか、大会近いなら頑張ってや！でもやっぱり寂しいから、ちょっとだけ通話とかするのはあかんかなあ？

(5) 今日の感想(気づいたこと・考えたこと)

(6) 自分への振り返り

自分も相手も尊重できる伝え方を考えてみよう

(1) 自分のコミュニケーションタイプについて考えてみよう。 ※スライド参照

項目 A	項目 B	項目 C

あてはまった○の数を数えてみよう。

◆3つのコミュニケーションタイプについて

- ① ( アグレッシブ (攻撃的) )
- ② ( ノンアサーティブ (非主張的) )
- ③ ( アサーティブ )

(2) ( アサーション ) で大切な4つの考え方

誠実	自分にも相手にも誠実であること
率直	気持ちや要求を伝えるときは、きちんと相手に伝わる形でおこなうこと
対等	自分を卑下したり、相手を見下したりしないこと
自己責任	自分の行動の結果を、自分で引き受けること

(3) 前回の事例をふりかえってみて・・・

(4) 事例を通して、アサーティブなコミュニケーションの練習をしてみよう。

B : 日曜日にデートしやん? 久しぶりに出かけようよ。

A : 日曜日? ごめん、その日部活あるんよなあ。

B : えー、部活? 休んでデート行こうや。

A : 大会近いから練習試合が入ってるんよ。

B : はあ? 恋人と部活どっちが大事なん?

A : この練習試合でスタメン決められるから、休みたくないんよなあ・・・。

B : へたくそなんやから練習したってスタメンになんかならへんって、  
そんなんもわからんの?

A : ...じゃあ、休むよ...。久しぶりにデートいこっか。

◆二人の会話の問題点

二人の関係が対等ではない

Aさんが最後に自分の気持ちを押し殺してしまっている

Bさんが強引に自分の意見を通そうとしている

◆二人の考えと気持ち

A

デートに行きたいとは思っている

ただ、練習試合も大切にしたい

B

久しぶりにデートがしたい

◆二人の会話をアサーティブにおこなうと、どのようになるかを考えてみよう。

B : はぁ？恋人と部活どっちが大事なん？ をアサーティブに伝えてみよう

➡ そっか…。でもいつも練習頑張ってるもんな。応援してるよ。

ただやっぱり寂しいから、大会が終わったらデートに行きたいなあ。

(他)

平日と一緒に帰ってもいいかな？ 長くしないから、ちょっとだけ電話したいな

など

◆MEMO (他の人との交流を通して…) 言われた内容や、言われたときに感じたことなど

( )さん

( )さん

( )さん

(5) 今回の授業(3時間)を通しての感想(学んだこと、気づいたこと、考えたことなど)



(6) 自分への振り返り(当てはまる場所に丸印をつけましょう。)

- ① 今日のテーマについてよく考えた。
- ② 他の人の意見をよく聞いた。
- ③ 自分の考えを表現した。
- ④ 自分の考えを深めた。


とてもそう思う そう思わない

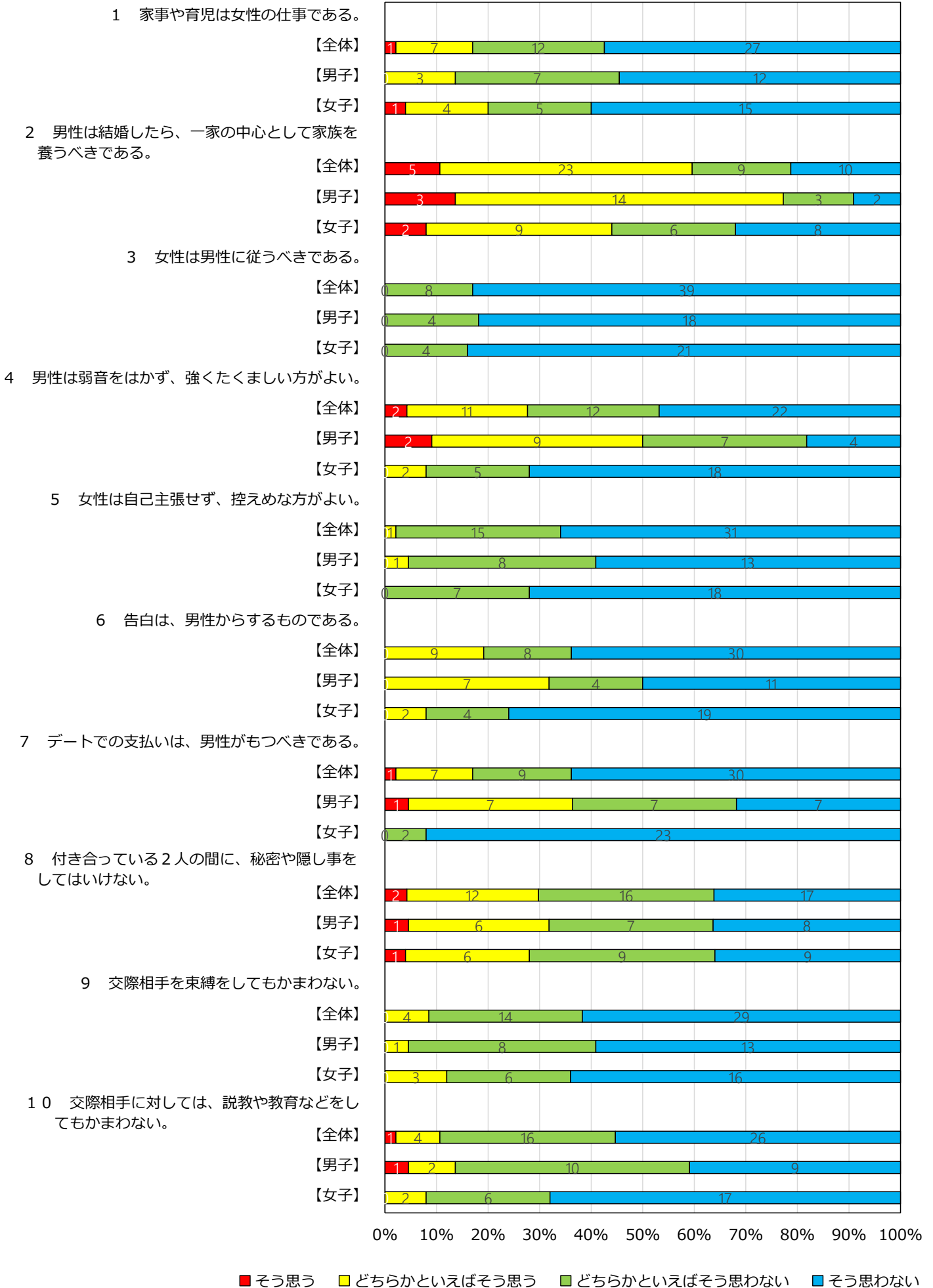
## 「生命の学習」事前アンケート

次の各質問について、あなたはどのように思いますか。また、どのように行動しますか。あてはまるものを選び、数字を○で囲みましょう。

性別 ( 男 ・ 女 )

【No.1~15の回答方法】					
1 そう思う    2 どちらかといえばそう思う    3 どちらかといえばそう思わない    4 そう思わない					
No	質問事項	回答			
1	家事や育児は女性の仕事である。	1	2	3	4
2	男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきである。	1	2	3	4
3	女性は男性に従うべきである。	1	2	3	4
4	男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよい。	1	2	3	4
5	女性は自己主張せず、控えめな方がよい。	1	2	3	4
6	告白は、男性からするものである。	1	2	3	4
7	デートでの支払いは、男性がもつべきである。	1	2	3	4
8	付き合っている2人の間に、秘密や隠し事をしてはいけない。	1	2	3	4
9	交際相手を束縛（行動チェックや人間関係の制限など）をしてもかまわない。	1	2	3	4
10	交際相手に対しては、自分が説教したり教育などをしたりしてもかまわない。	1	2	3	4
11	相手が嫌がっていても、交際相手であれば性的な行為をしてもかまわない。	1	2	3	4
12	交際相手との約束事は、何よりも優先すべきである。	1	2	3	4
13	嫉妬からの暴力・暴言は、愛している（愛されている）証拠である。	1	2	3	4
14	愛されるためには、相手の期待に応えなくてはならない。	1	2	3	4
15	相手が同意しない限り、別れることはできない。	1	2	3	4
16	交際相手と意見が合わないとき、どうしますか？				
	1 自分の意見に従わせる	2 話し合う	3 自分の意見を言うが、相手に合わせる	4 自分の意見を言わず、相手に合わせる	
5 その他（記述）					
17	交際相手に腹がたったら、どうしますか？				
	1 相手を攻撃したり、悪口を言う	2 相手を無視する	3 がまんする	4 自分の気持ちを言葉で伝える	
5 その他（記述）					
18	交際相手に暴力を振るってしまったら、どうしますか？				
	1 あやまる	2 あやまらない	3 その場を離れる	4 交際をやめる	
5 その他（記述）					
19	交際相手から暴力を振るわれたら、どうしますか？				
	1 やめてと言う	2 やり返す	3 がまんする	4 その場から逃げる	
5 その他（記述）					
20	交際相手から暴力を振るわれたら、相談しますか？				
	1 誰にも相談しない	2 友人に相談する	3 先生に相談する	4 家族に相談する	
5 その他（記述）					

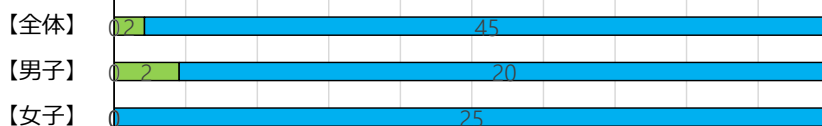
## 「生命の学習」事前アンケート結果集計（1～10）



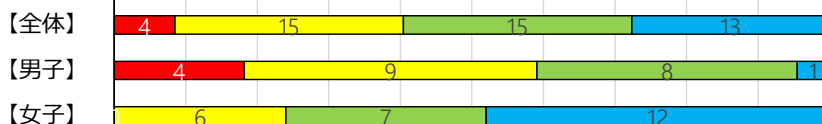


# 「生命の学習」事前アンケート結果集計（11～20）

1 1 相手が嫌がっていても、交際相手であれば性的な行為をしてもかまわない。



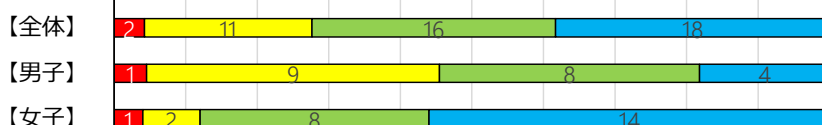
1 2 交際相手との約束事は、何よりも優先すべきである。



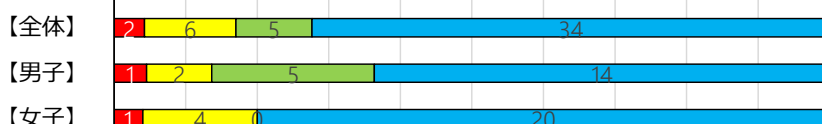
1 3 嫉妬からの暴力・暴言は、愛している証拠である。



1 4 愛されるためには、相手の期待に応えなくてはならない。

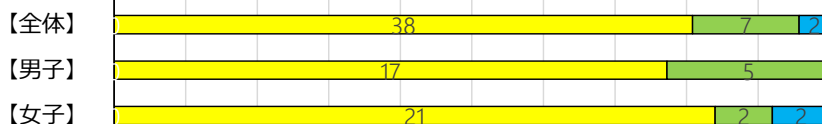


1 5 相手が同意しない限り、別れることはできない。



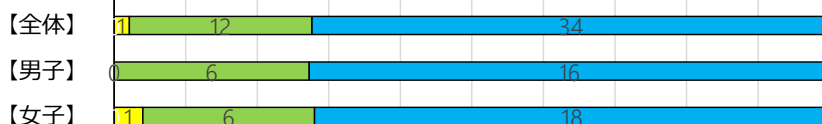
1 6 交際相手と意見が合わないとき、どうするか。

- 自分の意見に従わせる
- 話し合う
- 自分の意見を言うが、相手に合わせる
- 自分の意見を言わず、相手に合わせる



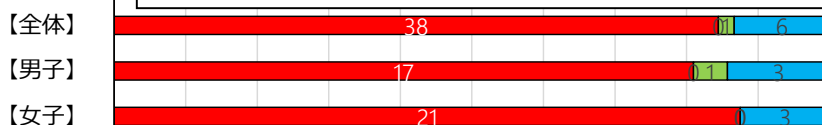
1 7 交際相手に腹がたったら、どうするか。

- 相手を攻撃したり、悪口を言う
- 相手を無視する
- がまんする
- 自分の気持ちを言葉で伝える



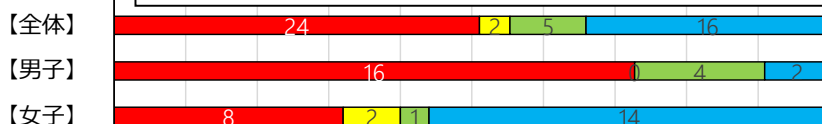
1 8 交際相手に暴力を振るってしまったら、どうするか。

- あやまる
- あやまらない
- その場を離れる
- 交際をやめる



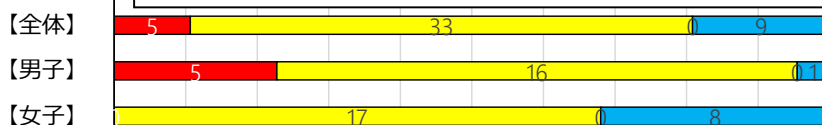
1 9 交際相手から暴力を振るわれたら、どうするか。

- やめとて言う
- やり返す
- がまんする
- その場から逃げる



2 0 交際相手から暴力を振るわれたら、誰に相談するか。

- 誰にも相談しない
- 友達に相談する
- 先生に相談する
- 家族に相談する



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

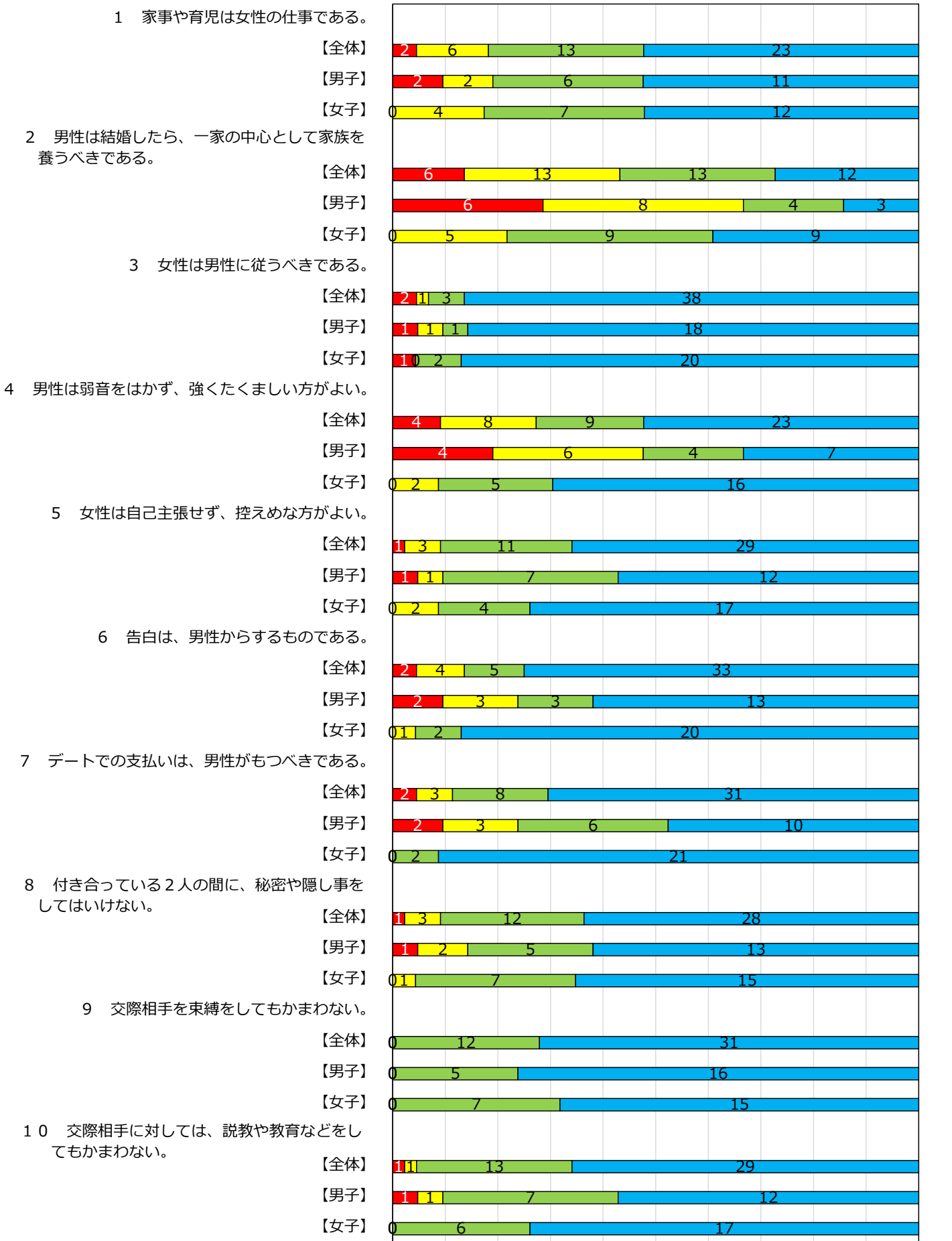
## 「生命の学習」 事後アンケート

次の各質問について、あなたはどのように思いますか。また、どのように行動しますか。あてはまるものを選び、数字を○で囲みましょう。

性別 ( 男 ・ 女 )

【No.1~15の回答方法】					
1 そう思う    2 どちらかといえばそう思う    3 どちらかといえばそう思わない    4 そう思わない					
No	質問事項	回答			
1	家事や育児は女性の仕事である。	1	2	3	4
2	男性は結婚したら、一家の中心として家族を養うべきである。	1	2	3	4
3	女性は男性に従うべきである。	1	2	3	4
4	男性は弱音をはかず、強くたくましい方がよい。	1	2	3	4
5	女性は自己主張せず、控えめな方がよい。	1	2	3	4
6	告白は、男性からするものである。	1	2	3	4
7	デートでの支払いは、男性がもつべきである。	1	2	3	4
8	付き合っている2人の間に、秘密や隠し事をしてはいけない。	1	2	3	4
9	交際相手を束縛（行動チェックや人間関係の制限など）をしてもかまわない。	1	2	3	4
10	交際相手に対しては、自分が説教したり教育などをしたりしてもかまわない。	1	2	3	4
11	相手が嫌がっていても、交際相手であれば性的な行為をしてもかまわない。	1	2	3	4
12	交際相手との約束事は、何よりも優先すべきである。	1	2	3	4
13	嫉妬からの暴力・暴言は、愛している（愛されている）証拠である。	1	2	3	4
14	愛されるためには、相手の期待に応えなくてはならない。	1	2	3	4
15	相手が同意しない限り、別れることはできない。	1	2	3	4
16	交際相手と意見が合わないとき、どうしますか？				
	1 自分の意見に従わせる	2 話し合う	3 自分の意見を言うが、相手に合わせる	4 自分の意見を言わず、相手に合わせる	
5 その他（記述）					
17	交際相手に腹がたったら、どうしますか？				
	1 相手を攻撃したり、悪口を言う	2 相手を無視する	3 がまんする	4 自分の気持ちを言葉で伝える	
5 その他（記述）					
18	交際相手に暴力を振るってしまったら、どうしますか？				
	1 あやまる	2 あやまらない	3 その場を離れる	4 交際をやめる	
5 その他（記述）					
19	交際相手から暴力を振るわれたら、どうしますか？				
	1 やめてと言う	2 やり返す	3 がまんする	4 その場から逃げる	
5 その他（記述）					
20	交際相手から暴力を振るわれたら、相談しますか？				
	1 誰にも相談しない	2 友人に相談する	3 先生に相談する	4 家族に相談する	
5 その他（記述）					

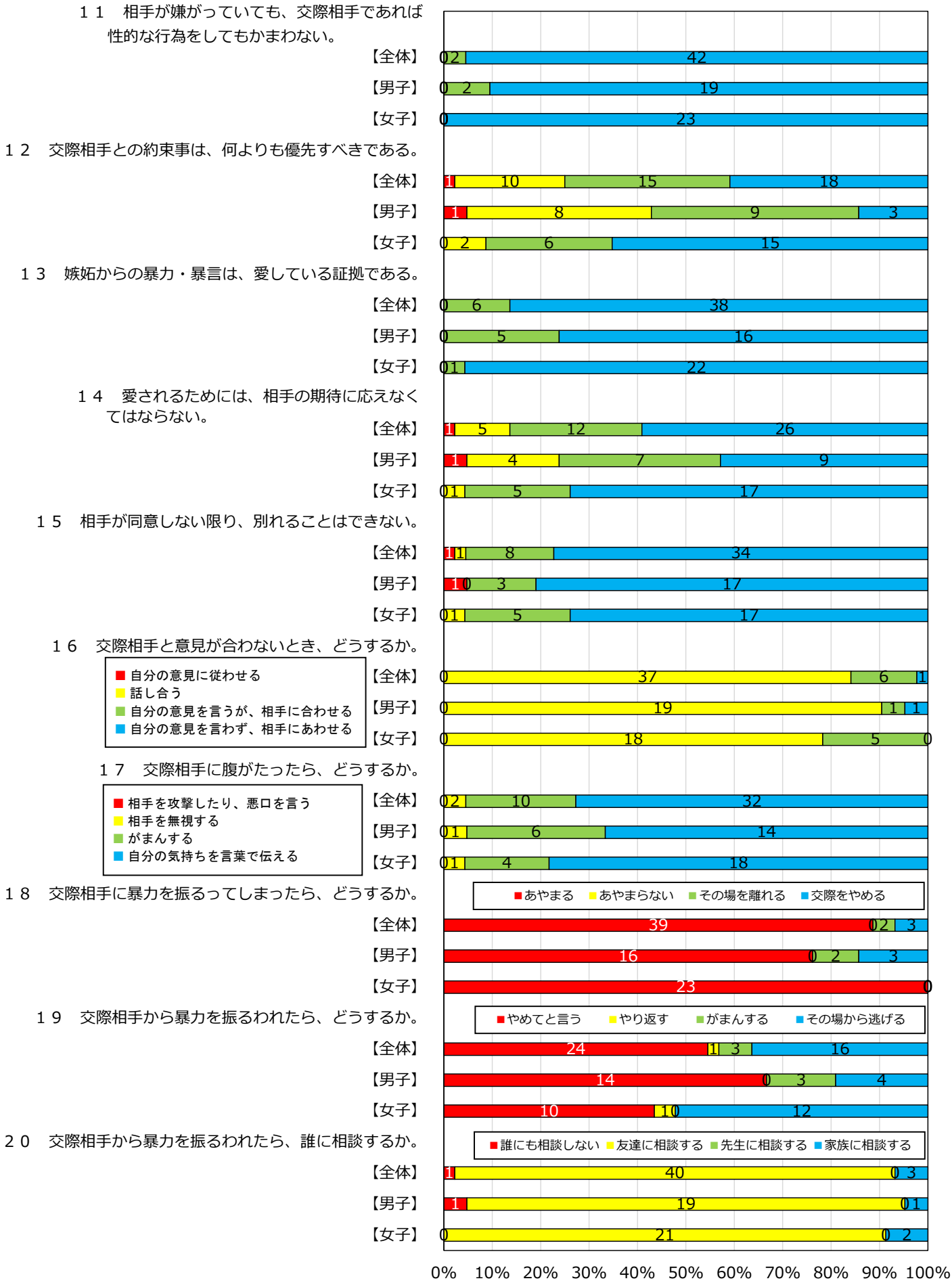
「生命の学習」事後アンケート結果集計（1～10）



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ そう思う    ■ どちらかといえばそう思う    ■ どちらかといえばそう思わない    ■ そう思わない

「生命の学習」事後アンケート結果集計（11～20）



■ そう思う    ■ どちらかといえばそう思う    ■ どちらかといえばそう思わない    ■ そう思わない

# 性教育年間指導計画

かつらぎ町立笠田中学校

異性 生命 健康 人権 他

教科等	1 学期						2 学期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級活動	1年	情報への対処(1)				生命の誕生 命の継承					異性への関心 男女理解	
	2年	情報への対処(2)				望ましい男女交際(1)					異性との関わりと性的欲求	
	3年	望ましい男女交際(2)				よりよい人間関係 性的な暴力			自他の命の尊重 命への責任		共に生きる	
道徳	1年			A(2)節度、節制		B(6)思いやり、感謝			B(8)友情、信頼		D(19)生命の尊さ	
	2年			A(2)節度、節制		B(6)思いやり、感謝			B(8)友情、信頼		D(19)生命の尊さ	
	3年			A(5)真理の探究、創造		B(6)思いやり、感謝			B(8)友情、信頼		D(19)生命の尊さ	
保健体育	1年				健康の成り立ち 運動と健康 食生活と健康	健康な生活と 病気の予防①		体の発育・発達 性機能の成熟 性とう向き合うか 心の発達 欲求不満やストレスへの対処			心身の発達と 心の健康	
	2年										傷害の防止	
	3年										健康な生活と 病気の予防③	
社会						【3年】 基本的人権の尊重						
理科		【1年】 植物のくらしとなかま 【3年】 生物の連続性 生物のふえ方と遺伝				【2年】 生命を維持する働き 動物のなかまと生物の進化						
家庭						【3年】 わたしたちの成長と家族・地域 幼児とのふれあい						



和歌山県立箕島高等学校





## 1 指導モデルの概要

### (1)概要について

本校は、機械科、情報経営科、普通科普通コース、普通科スポーツコースの4つの学科・コースで編成されており、近隣中学校からだけでなく、県内・他府県の中学校からも本校に入学し、新しい人間関係のもと専門的な知識や技能習得に力を注ぎ、地域産業の活性化に尽力できるように学業に励んでいる。

また、部活動も盛んで、毎年、全国大会に出場し、上位入賞する競技もあり、文武両道を実現している。卒業後は60%が大学や専門学校へ進学、40%が就職し、地元産業を含め幅広い分野で活躍している。

高校生は、身体的には二次性徴の発現がほぼ完了し、性に関する関心も高まり、心理的にも行動的にも積極的な性行動がみられるようになる。

日常生活においてもインターネットやスマートフォンを使用する頻度が多くなり、今まで以上に人間関係も広がり、ネットトラブルや様々な被害に遇う可能性が増える。

また、人間関係や社会問題、日常生活での様々な問題に直面し、自分が抱えている理想の実現がいかに困難であるかを実感したり、進学か就職の進路選択もあり、これまでに経験したことのない不安や苦悩が生まれたりする時期でもある。

本校においても、家庭環境が様々で思春期特有の悩みや葛藤の中、後先考えず行動に移してしまう傾向のある生徒や不登校や長期欠席を経験し、人間関係で傷つき体験をしてきた生徒、ネット依存・ネットトラブルなど、様々な問題に直面している生徒も在籍している。

また、国の性被害や性暴力に関する統計調査からは、学校の先輩・後輩や同級生等の友達や交際相手、または、指導者やアルバイト先の同僚等、身近な人から性暴力を受けている傾向が見られ、被害が増える一方で、大人に性に関する相談を行うのが難しくなる年代でもある。

学校で普段取り扱わない「デートDV」や「性暴力」という言葉については、インターネットや友人、知人からの知識であることが多く、言葉の意味の理解度には個人差があり、誤った認識をしている生徒がいるとも考えられる。これらの知識の偏りを無くし、生徒たちに身近な問題として正しい知識を持たせ、SNSの危険性と付き合い方について考えさせるため、文部科学省教材「生命（いのち）の安全教育（高校）」を使用し、生徒の実態把握と危機意識の強化を図ることとした。



〔第2回 事前協議の様子〕

## (2) 授業の展開について

本授業を性に関する指導の一環として特別活動の時間に位置づけ、事前学習として、生徒自身が自分の性格や人間関係のあり方について学んだ後、自分と相手との体や心の距離感、性被害や加害者、傍観者等について学ぶ方が、生徒と教職員共に理解が深まると考えた。

そのため、事前に「交流分析エゴグラムを使って自分を知る」授業を行い、自己の性格を考えた上で、本授業を導入することにした。

また、デリケートな事項を扱うことを鑑み、教職員の支援体制強化のため、全教職員対象の現職教育を実施し、授業では担任、副担任はじめ、全職員の共通理解のもと行うことにした。

さらに、県警から出向中の県教育委員会指導主事に依頼し、ゲスト講師としてSNSで知らない人とつながることの危険性や自分の行動に危機意識を持つことの重要性について講義してもらうことにした。

当初は、体育館などの施設で生徒を集めて一斉に授業を行うことも検討したが、コロナ禍で1年生の全生徒を一箇所に集めて授業を行うことの感染リスクへの配慮や、すでに性暴力などに遭っている生徒が、授業を受け気分が悪くなった際に「退席したい」と申し出せない環境にもなり得ることから、生徒が安心して授業に集中し、担任、副担任ができるだけ生徒の様子に気を配れるように、各教室へ養護教諭やゲスト講師が生配信する型の授業を行うことにした。

実際の授業では、事前アンケート結果を踏まえ、生徒の実態に即した内容となるように検討し、前記教材に沿って一部改変したパワーポイント資料や動画教材の「生命の安全教育教材（高校）」を使用するとともにワークプリントを作成し、自己評価の欄も設けた。



〔モデル授業 配信の様子〕

「デートDV」や「性暴力」とは何かについて学んだ上で、SNSを利用した事例を通じて、生徒にどのように考えて行動すべきか、性暴力が起こる背景や体と心の距離感などを考えさせることにした。

さらに、自分が被害に遭った場合に一人で抱え込まないために信頼できる知人、大人に話す等の対処方法を身に付けることに重点を置いた。

校内の教育相談担当教諭とスクールカウンセラーの紹介動画も入れ、授業担当している養護教諭はじめ全教職員が生徒たちの相談に乗る気持ちがあることを伝え、和歌山県や国が運営している電話やネットでの相談窓口も紹介した。

また、学習後に、知識理解の定着度を図るため事後アンケートを実施した。

## (3) モデル授業について

授業は、1コマ50分授業を連続2コマ（途中10分休憩）、配信型で実施した。

最初に別室から各教室にいる生徒に保健主事が挨拶をして、その後、養護教諭が配信、各教室には担任と副担任が授業の補助に入り、生活指導部員が廊下で待機する等、補足説明や体調不良を訴える生徒の対応ができるようにした。

前半の1コマはパワーポイントのレジュメに沿って、相手と自分を守るためには体と心の距離感が大切であることを伝え、体の距離感については、個人差はあるものの、実際にどのくらいの距離

が適切かを表すために、エドワード・ホールが提唱したパーソナルスペースを参照し、場面に応じて体の距離感について説明を行い、自分の距離感についてワークシートに記載させた。

体と心の距離感を知った上で、性暴力に関する動画を閲覧させ、その後デートDVにて起こりうる性暴力の例や、性暴力がお互いの関係が対等でない場合に起こりやすいことを説明した。

後半の1コマでは、自分や友人が性暴力の被害に遭った場合の対処方法や、一人で抱え込むことなく信頼のできる大人に助けを求めることの大切さ、高校生活を通じて実際に起こりうる事例についてどのように行動すべきかを生徒自らが考え、ワークシートに記載する時間を設けた。

さらに考えが深まるように、県警から出向中の県教育委員会指導主事からは、SNSにより見知らぬ人と会い家に泊めてもらうことの危険性を未成年者略取誘拐罪という犯罪と絡めて、ニュースで報じられていない性被害が実際にあることを話してもらった。

また、男子でも性被害に遭うことや男女問わずどんな危険があるかを考えて行動すること等、危険を避けることができる危機管理能力が必要であることを説明してもらった。

自分の行動によって今後どうなるかを常々考えることが被害を防ぐ上で大事であること、性被害に遭った場合の相談ダイヤル等を生徒に伝えた。

2コマ連続の授業であったが、授業中も、授業の合間の休憩にも体調不良を訴える生徒はおらず、どの生徒も自分事と捉え、真剣に集中して授業を受けている様子であり、授業中に私語をする等、勝手な行動をする生徒は見受けられなかった。



〔モデル授業 教室の様子〕

#### (4) 成果と課題について

モデル授業を実施した後、研究協議を行い、授業を参観した入駒教授や県教育委員会指導主事、担当教諭、管理職により意見交換の場を設けた。

研究協議では、参加者から様々な意見が寄せられ、授業を実際に受けていた生徒からの反応も比較的良かったものと推察でき、同時に今後の課題も見えた有意義な協議となった。

また、教職員研修を実施したことで、実際に様々な出来事が起こったときに生徒の心に寄り添い、迅速な対応ができるように教職員の意識の向上を図ることができた。よりよい支援ができるようにさらに研鑽を積み、学校組織として外部機関とも連携していく必要がある。

##### —参加者の意見（抜粋）—

- ・授業はテンポよく聞こえやすく展開された。
- ・静かにまじめに授業に取り組んでいた。
- ・エゴグラムの授業の展開から、今回の授業につながっており、生徒の心に根付きやすい授業であった。
- ・事前アンケート結果からも分かるように、言葉を知らない生徒が多いことが顕著であった。
- ・授業終了後、すぐに生徒から授業内容について声をかけられた。
- ・今回はコロナ禍で実施できなかったが、事例について生徒の考えを発表させる場を設け、他の生徒がどのように考えているか知る機会を与えたり、生徒同士で事例について話し合う時間を確保し、自分以外にも様々な考えがあることを知れば、実際に自分と他人との心の距離感を肌で感じるよい機会になったかもしれない。

## 2 子供たちの変容等

### (1) 事前アンケート結果について

授業の事前アンケートは、生命（いのち）の安全教育において取り上げる「デートDV」、「JKビジネス」や「性犯罪・性暴力」などの言葉について、どの程度生徒が理解しているかを把握するための設問を多く設けた。

問1「生命（いのち）の安全教育の必要性」については、7割を超える生徒が「かなり必要」と回答しており、生徒自身も具体的なことを知りたいと思っていると推察できたものの、問2、問4では授業において触れる「デートDV」や「JKビジネス」といったワードについて半数を超える生徒が「全く知らない」と回答していた。

問10「性犯罪・性暴力に遭ったときの対応」については、「わからない」等の回答が多く、具体的な対応方法を説明できる生徒が少ないと考えられ、生徒が持っている知識が少ないことがわかった。

また、問3、問5、問7で知識の入手方法についても「家族」、「学校」、「友人、先輩」という回答が少なく、インターネットやテレビが大部分を占めていることから、学校側が生徒に知ってほしいワードに関して、生徒は家族や友人などと共有している情報が少ないと考えられた。

### (2) 自己評価について

授業実施後には、授業に対する関心などを推し量るため、生徒に対して「関心を持って学習できたか」、「自分のこととして考えることができたか」、「性犯罪・性暴力について理解が深まったか」の3問について「よくできた～わからない」等の4段階の回答を求めたところ、90%を超える生徒から「よくできた、できた」「よく深まった、深まった」の回答であった。

また、生徒から率直な感想や、知りたいと思ったことを記載してもらうために、自由記載欄を設けたところ、多くの生徒が自身の素直な意見を述べており、授業において新たに得た知識を今後、役立てて行こうとする意見が多数を占めていた。

—生徒の回答（抜粋）—

- ・女性だけでなく、男性も性暴力があるのは怖いと思った。
- ・もしかしたら自分も知らないうちに加害者になっているかもしれないので、今後は相手のことを考えて行動したい。
- ・悪いのは加害者、傍観者であって被害者ではないということが分かった、もし自分が被害者の友人だったら、そのことを思い出させないようにしたい。
- ・人によって感じるものが違うから、人のことを考えて行動していこうと思った。
- ・身近なことではないと思っていたが、全然ありえる話だと思った。

### (3) 事後アンケート結果について

事後アンケートは、本授業の8日後に実施し、理解度の定着を確認するため事前アンケートとほぼ同一の質問をした。

問1、問2において生命（いのち）の安全教育の理解度、必要性についての質問については、90%を超える生徒から評価が得られる回答であった。また、問3、問5、問7、問9において、授業で取り扱った「デートDV」、「JKビジネス」、「セクハラ＝セクシャルハラスメント」、「性犯罪・

性暴力」等のワードの認知度についての質問では、「セクハラ＝セクシャルハラスメント」は同程度であったが、その他のワードについてはいずれも認知度が向上していた。

さらに、それぞれの言葉の意味を知った経緯についての問では、「学校」と回答した生徒が事前アンケートより大幅に上昇していたことから、学校において正しい知識を教えることが重要だと感じられた。

問12における「性犯罪・性暴力に遭った時の対応」については、事前アンケートでは具体的な対処方法を記載できる生徒が少なかったが、事後アンケートでは多数の生徒が「警察や家族、信頼できる人に相談する」、「大声で叫ぶ」、「逃げて助けを呼ぶ」等の対応が必要であるとの回答をしており、本授業実施後、日が経過していたものの、性犯罪・性暴力の被害者にならないということ、被害にあった際に一人で抱えこまないということが浸透していると推察された。

#### (4)まとめ

事前アンケートを見ると生命の安全の大切さの重要性は理解できていても、デートDVやJKビジネスなどの言葉を知らず、性被害や性犯罪に関する正しい知識があまりないことがわかった。

授業直後の感想や、事後アンケートを見ると関心や見識は上がり、生徒たちは自分事として捉え、SNSや日頃の行動から気を付けることの大切さについて考えており、危機意識の強化を図ることができた。

しかし、言葉巧みに誘われたり、巻き込まれたりしたときに対応できる能力が身につけているとは言いきれるものではないと考える。

今後も授業で知ったキーワードを元に生徒自らがさらに深い学びを続け、性犯罪、性暴力を防ぎ、危険を回避したり相談したりするなどの対応力を身に付けさせる必要がある。

生徒の実態把握と知識の向上、実践力を養うことを目指して、さまざまなアプローチや学習指導を検討実践しながら、継続的に支援していきたい。

### 3 その他

#### (1)教職員研修について

生命（いのち）の安全教育を実施するにあたり、性被害・性犯罪被害に巻き込まれた生徒への理解や生徒がSOSを出しやすくするよう学校側で相談を受ける体制を強化するため、教職員に対して事前研修を実施する必要性が認められた。

よって、県教育委員会に依頼し、学校で実際に起こりうる事例を通じて困っている生徒への支援方法や、性暴力に遭った被害者がどのような状況に陥っているかなどについて講義を依頼することとした。

県警から出向中の県教育委員会指導主事からは、性被害に遭った被害者が警察に届け出た際にどのようなプロセスを経て捜査に至るかの解説をしてもらった。

実際に教職員が被害を打ち明けられた場合にもどのように対応し、警察や医療、児童相談所などの関係機関につなぐのか等について説明を受けることにより、教職員が先を見据えた対応が行えるように研修した。

SNSを利用している高校生が見知らぬ人とつながり、会うことで巻き込まれやすい事案の説明を受け、現在の高校生がいかに事件に巻き込まれやすいインターネット環境にいるかということ

を実感させられた。

また、県教育委員会教育相談室専門員からは、「困っている生徒への支援について」と題して、ある生徒の1年間の行動変化についての事例をもとに、この場面ではどのように対応するか、どこに問題があるか等について教職員間で話し合う場を設けてもらった。

そうすることで、生徒の心の把握の仕方や支援方法について共通理解することができた。

さらに、性被害に遭った生徒の心や体にどのようなことが起こっており、生徒への支援についてどのようなことができ、どうすることが必要なのか、具体例を交えて説明していただいたので、被害者に関する理解を深めることができた。

教職員研修により、被害に遭っているかもしれない生徒の変化や性暴力の現状、実際に被害に遭っている生徒の相談先や警察へのつなぎ方について知ることができ、教職員が生命（いのち）の安全教育で生徒をサポートするための必要な情報を得ることができた。



〔教職員研修の様子〕

**(2) 指導案、パワーポイント資料、アンケート結果等について  
別添のとおり**

## 令和4年度1年生「性に関する指導」について

### 1 題材 「大切な心と体を守るために」

#### 2 ねらい

- ・ 心と体には距離感があるという認識を身に付け、相手の気持ちを尊重した意思決定ができるようにする。
- ・ 距離感が守られないとき取るべき行動を理解し、相談方法を身に付けることができるようにする。
- ・ 性暴力の例、背景、現状のデータを理解し、デートDV、SNSで見えない相手とつながることの危険性、セクシュアルハラスメント、JKビジネスについて考え、安全な意思決定ができるようにする。
- ・ 二次被害の例や背景を理解し、被害者の気持ちを尊重して、二次被害が起きないための発言や行動ができるようにする。
- ・ お互いの気持ちを尊重し、よりよい（望ましい）人間関係を構築しようとする態度を養う。

#### 3 使用教材・その他参考資料

- ・ 文部科学省作成「生命の安全教育（高校）」
- ・ 内閣府「令和2年度男女間における暴力に関する調査」
- ・ 内閣府「人と人とのよりよい関係をつくるために 交際相手とのすてきな関係をつくっていくには」  
[https://www.gender.go.jp/policy/no\\_violence/violence\\_research/yobou/kyozai.html](https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/violence_research/yobou/kyozai.html)
- ・ 男女共同参画局ホームページ
- ・ 性暴力に関するSNS相談「Cure Time（キュアタイム）」  
<https://curetime.jp/>（内閣府）
- ・ 性暴力救援センターわかやま mine
- ・ パーソナルスペース  
Hall, Edward. T. (1966) *THE HIDDEN DIMENSION*. New York: Doubleday & Company. (=1970, 日高敏隆・佐藤信行訳『かくれた次元』みすず書房.)

#### 4 題材について

- 題材設定の理由
  - ・ 高校での性暴力は、人間関係が広がる中で、学校の先輩・同級生・後輩、交際相手、指導者等、身近な人から性暴力を受ける場合が多い。
  - ・ 被害が増える一方で、大人に相談するのが難しくなりやすく、一人で抱え込むことがある。性暴力が起こる背景についても学び、自分が被害に遭った場合に信頼できる大人に話す等対処の方法を身に付ける必要がある。
  - ・ 自分や相手、一人一人を尊重することにより、加害者、被害者、傍観者にならないための思考や態度を身に付ける必要がある。
- 指導上の留意点
  - ・ 身近な事例や性暴力被害に関するデータ等を用いて学習することで、性暴力の実態を知り、自分自身も被害者や関係者になり得ることを理解させる。ただし、生徒の中には被害者がいる可能性を念頭に置き、説明の際の表現には十分注意が必要である（後述）。
  - ・ 性暴力は、年齢や性別を問わず起こることを伝える。
  - ・ 加害者が身近な人である場合も少なくない。見知らぬ大人（特に男性）のみが危険

と決めつけないようにしなければならない。

- ・ 他人との適切な距離感や対等な関係の大切さを理解させ、性暴力が起こる背景を考えさせる。被害者にならないようにするためにはどうしたらよいか考えを深めるとともに、加害者・傍観者にもならないよう意識づけをする。また、性暴力に関連する刑法や警察、相談窓口等も紹介する。
  - ・ 性暴力の被害の影響を伝え、性暴力の責任は加害者にあり被害者に責任を押し付けないこと、二次被害を生まないための周りの行いについて考えさせる。
  - ・ 生徒の性行為については、たとえ合意がある場合であっても、性感染症のリスクや、妊娠によって生じる社会的責任や生活の変化に対応できるかどうか等について、発達段階を踏まえて、必要に応じて適宜指導する。
- 「性暴力」というテーマを取り扱う上での配慮・留意事項
- ・ すでに被害を受けている生徒がいるかもしれないと意識すること。授業の中で、二次被害を受けることのないよう配慮が必要である。
  - ・ 過去に性暴力に遭った生徒がいることを把握している場合、授業前に個別に声をかけて授業に参加するかどうかは自分で決めてよいと伝える。また、学校側が把握していなくても、性暴力の被害に遭ったもしくは遭っている生徒がいる可能性を十分に考慮し、気分が悪くなった場合は授業中にいつでも退席してよいことを伝えるとともに、配慮が必要と思われる生徒がいれば授業中の様子を特に注意深く見守る。
  - ・ 性に関する指導における3年間の指導計画に沿って、この「生命の安全教育」を行うことを踏まえ、教職員全体で継続的な指導、支援に努める。
  - ・ 授業後に生徒からの相談があった場合のフォローアップについて、事前に教職員研修を行い、教職員全体で情報共有を行っておく。

## 5 日時・場所・対象

令和4年 9月14日（水） 5. 6限 （50分×2）

各教室（配信） 1年生対象 （生徒準備物 筆記用具）

※ チャイムとともに始められるようにご指導ください。

## 6 内容

- ・ 9月初旬、事前アンケート実施
- ・ よりよい関係、性暴力の実態、被害に遭ったときの対応を身につける。
- ・ 事例ワーク
- ・ 警察官から話を聞く
- ・ 感想を書く
- ・ 相談窓口紹介、カードの配布
- ・ 後日、事後アンケート実施

## 7 外部講師及び指導助言（生命（いのち）の安全教育推進事業）

警察官講師：学校教育局 教育支援課 学校安全班 指導主事 棟保 勇介氏

指導助言：東京保健医療大学 入駒 一美氏

※ 当日来校され、生徒の様子等をみられます。

## 8 授業の進め方の工夫、ワークのポイント

### ○ 授業の進め方の工夫

- ・ 事前アンケートと事後アンケートを行い、生徒の知識や意識について状況把握をする。
- ・ 事前に題材「交流分析エゴグラムを使って自分を知る」授業を行い、自分を知った



- 上で、相手との心と体の距離感や性被害や加害者、傍観者等について考えさせる。
- 事例は、被害者や加害者、傍観者が高校生で、学校やアルバイト先、SNS での出来事等、身近にありそうな設定にして他人事にならないようにする。
- 性暴力は、対等な人間関係が崩れて「上下・主従関係」が生まれることで起こると理解させることが重要である。そのため、教師と生徒も人として対等な関係であることを意識しながら、授業を進める。
- 教師からの一方向のみではなく、教師と生徒の対話が生まれるよう、ワークを取り入れる。
- 学校内の相談窓口の紹介と警察官から実際の性被害、加害における現状の話聞かせ、世の中には知らないうちに危険に巻き込まれることがあることを知らせる。また、SNS や電話による公的な相談窓口も紹介し、信頼できる先生に相談するように勧め、授業後もフォローアップできるようにする。
- ワークを行う際のポイント
  - 授業の感想として被害経験を伝えてくる生徒がいる可能性を考慮し、授業のプリントを回収する際は、他の生徒に内容を読まれないよう十分注意する。

## 9 授業展開

- 感染症予防の徹底、マスク着用、換気
- 進行：保健主事および生活指導部、 授業者：養護教諭（担任・副担任等）

	学習内容・活動	指導上の留意点	教材等
導入	・ 学習上の注意点	・ 学習中に不調を来して退出したい等の場合は教師に申し出てよいこと等を伝える。	—
	・ 授業のねらいや全体像を知る	・ 授業のねらいと授業内容を説明する。	教材 P. 2
展開	・ よりよい人間関係について理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よい人間関係とはどのようなものか問ひかけ、生徒に考えさせる。</li> <li>・ 距離感の種類を例示することで、目に見えない人との距離感の概念について伝える。</li> <li>・ 距離感が守られていないときはどのようにすればよいかを生徒に考えさせ、自他の距離感を守ることの大切さを理解させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">           距離感とは：            自分の心と体は自分だけのものであり、相手も同様である。互いに心と体を尊重できているかを確認するための言葉を「距離感」としている。         </div>	教材 P. 3-13
	・ 性暴力の実態を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性暴力にはどのようなものがあるか、接触型暴力と非接触型暴力を例示する。</li> <li>・ 自身も被害者や関係者になり得るという現状について、性暴力被害に関するデータを用いて伝える。</li> <li>・ 事例は生徒の実態に応じて準備</li> </ul>	教材 P. 14-24

	学習内容・活動	指導上の留意点	教材等
		<p>し、登場人物を同世代とすることで、性暴力が身近な問題であることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS やインターネット上に載せた画像や動画は、見た人が勝手に保存する等、あとで消すことが難しくなることを伝える。</li> <li>・ 性暴力に性別は関係ないことを伝える。</li> <li>・ 被害に遭うと心身に様々な傷を負うことを共有し、被害者が訴えにくい状況にあることを伝える。</li> <li>・ 性暴力により妊娠したり性感染症にかかったりする場合もあることを伝える。</li> <li>・ 非対等な人間関係が、性暴力につながる可能性があることを伝える。</li> <li>・ 加害者、被害者、傍観者にならないために、交際相手の写真を事例に、よりよい人間関係を築くことで性暴力防止につながることを伝える。</li> <li>・ 二次被害の例や背景を伝える。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害に遭ったときの対応を身に付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害に遭ったら、どのように対応すればよいかを伝える。</li> <li>・ 友人から相談された場合も、教職員、スクールカウンセラー、保護者など信頼できる人に相談することをすすめる。</li> </ul>	教材 P. 25-33
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補足資料のセクシュアルハラスメント、SNS の危険性、JK ビジネスの事例をもとに、登場人物の気持ちを考えさせ、被害に遭わない方法や加害者にならないようにするにはどうすればよいかを考えさせる。</li> </ul>	教材 P. 34-44
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察官から話を聞き、性被害と加害に対する理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察官から実際の性被害、加害の現状や事例などを聞かせ、知らないうちに巻き込まれる危険と知識や判断力を身につける必要性に気付かせる。</li> </ul>	教材 P. 45-46
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談機関について補足説明する。</li> <li>・ 相手の気持ちを尊重すると、よい人間関係を築けることを再確認する。</li> </ul>	教材 P. 47-53 配布資料

# 大切な心と体を 守るために



2022. 9. 14

和歌山県立箕島高等学校

0

## 大切な心と体を 守るために 1

- よりよい人間関係ってなんだろう？
- 性暴力とは？

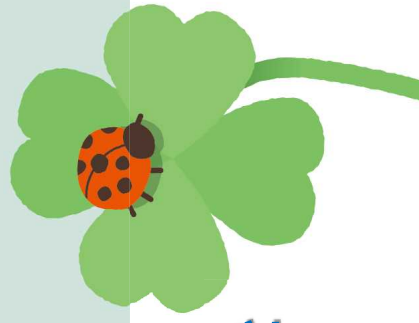


2022. 9

和歌山県立箕島高等学校

2

よりよい人間関係ってなんだろう？  
自分と相手を守るために  
性暴力を知ろう



ひとりで抱え込まない。  
助け合い、対処方法を  
知る。

大切な心と体を守るために  
～よりよい人間関係とは？～

？ よりよい人間関係ってどういうものか考えてみよう



自分を大切にし、**相手も大切に**することで、  
よりよい人間関係をつくることができます。

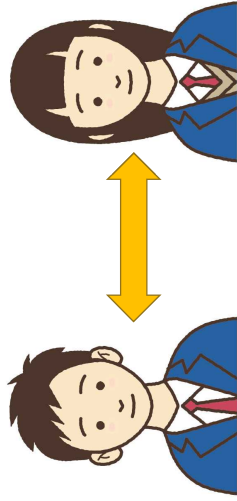
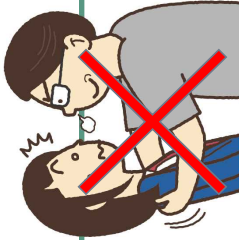
3

自分と相手を守るもの

～距離感ってなに？～

### 体の距離感

心地よい距離は人によって違います。近寄られるのをいやがる人もいます。



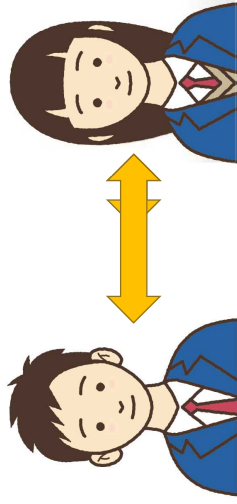
4

自分と相手を守るもの

～距離感ってなに？～

### 体の距離感

心地よい距離は人によって違います。近寄られるのをいやがる人もいます。



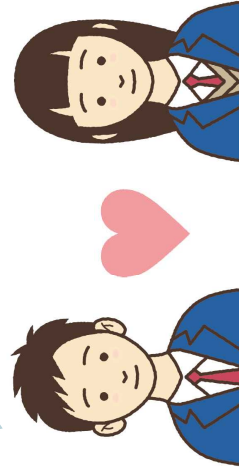
5

自分と相手を守るもの

～距離感ってなに？～

僕はA  
だと思う

私はB  
だと思う



違う考えの人もいるんだね

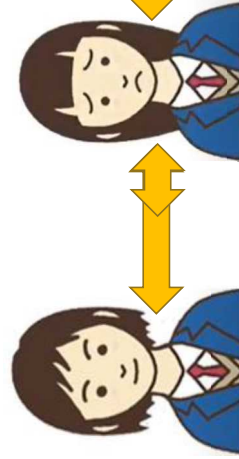
### 心の距離感

どんなに仲のよい相手でも、いつも自分と同じ気持ちではありません。相手の気持ちを大切にし、自分の気持ちも大切にしましょう。

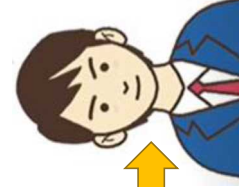
自分と相手を守るもの

～距離感ってなに？～

### 体の距離感



### 心の距離感



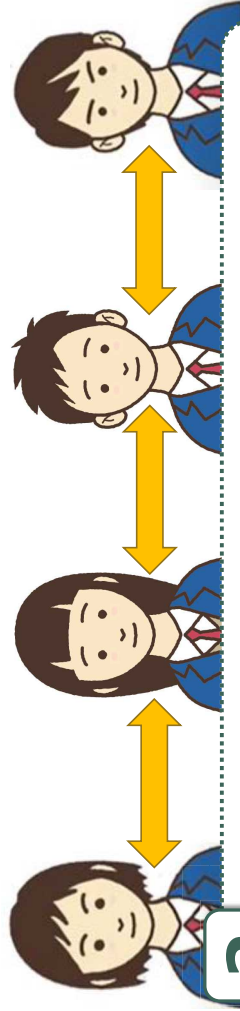
自分の心や体は自分だけのものです。他人との距離は自分自身で決めることができます。自分と相手を守るときに距離感が役立ちます。

6

自分と相手を守るもの ～距離感ってなに？～

## 体の距離感

## 心の距離感



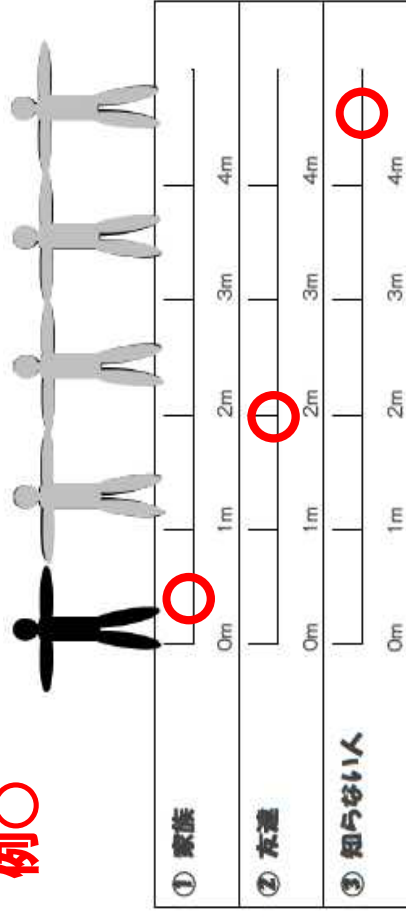
あなたが相手と接するときに  
「近すぎていやだな」と感じる距離を考えよう。

- ① 家族 ② 友達 ③ 知らない人

問1 あなたが相手と接するときに、  
「近すぎていやだな」と感じる距離  
を考えましょう。

線の上に○印を入れてみよう。

例○



## パーソナルスペース

1	<b>45cm以内</b>	密接距離 心身ともにふれあえる	親密・接触・恋人ゾーン
2	<b>45～120cm</b>	個人距離 手を伸ばせばふれることも可能	プライベート・友人ゾーン
3	<b>120～360cm</b>	社会距離 細かい表情は見えないが関係は成立	社会的フォーマル・知人ゾーン
4	<b>360cm以上</b>	公共距離 相手と個人的な関係は成立しない	公的・大衆ゾーン

Hall, Edward T. (1966) THE HIDDEN DIMENSION. New York: Doubleday & Company. (=1970, 日高敏隆・佐藤信行訳『かくれた次元』みすず書房.)

自分と相手を守るもの

～距離感が守られないときは？～

相手が近づいてきたり、体に触られたりして、  
いやだなあと感じたら、自分の距離感が守られて  
いないということです。  
あなたがいやなことはいやだと言うことができます。

## 「距離感」を守ろう

自分の距離感を守ろう 相手の距離感を守ろう



## 自分と相手を守るもの ～距離感が守られないときは？～

- 自分がいやだと感じたことは、いやだと言ってよい
- 相手がいやだと言ったら、相手の気持ちを受け入れる
- いやなときは、相手と距離を置いてみる
- 自分の距離感が守られないときは、信頼できる人に相談する

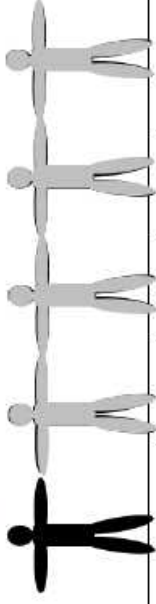
### 「距離感」を守ろう

自分の距離感を守ろう 相手の距離感を守ろう



12

線の上に○印を入れてみよう。



① 家族							
	0m	1m	2m	3m	4m		
② 友達							
	0m	1m	2m	3m	4m		
③ 知らない人							
	0m	1m	2m	3m	4m		

2 体と心の距離感について話をきいて、思ったことを書きましょ

3 考えてみよう

① 登場人物はそれぞれがどのように行動すればよかったのか考えてみましょう。

# 性暴力とは？

再生 (K)

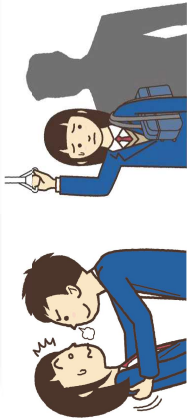
0:00 / 16:41

## 性暴力とは？

あなたが望まない性的な行為のことです。  
相手が恋人や家族、顔見知りだったとしても、  
あなたが望まない性的な行為はすべて性暴力です

- 相手がいやがっているのに、性的な言葉を言ったり、体を触ったり、見せつけたりするなど、性的な言葉や行動で人を傷つけることは性暴力です。体に触る暴力だけが性暴力ではありません。
- 性別にかかわらず被害にあいます。

### 体に触る性暴力



### 体に触らない性暴力



16

## 性暴力の例【デートDV】 どんないことがデートDVになるの？

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、結婚している相手など親密な関係の相手からふるわれる暴力のことです。恋人同士の間にかかる暴力のことを「デートDV」と言います。

### 身体的暴力



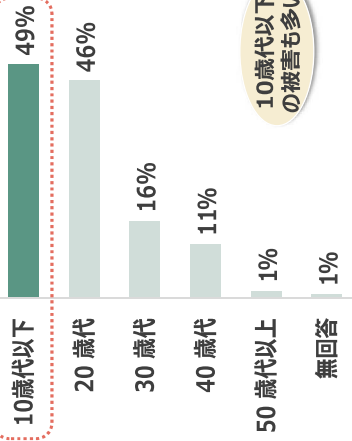
暴力を手段として、相手を思いどおりにしたり、一方的に言うことを聞かせようとします。

18

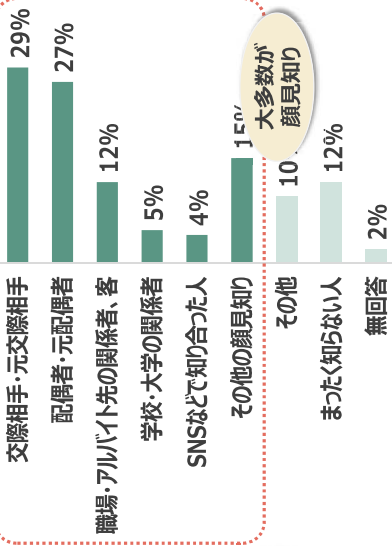
## 性暴力は身近なところで起こっています

無理やり性交をされたことがある人のうち、被害にあった年齢は、**10歳代以下も多くなっています**。加害者との関係は、**面識のある人からの被害が大多数を占め**、まったく知らない人からの被害は12%です。

### 被害にあった時期



### 加害者との関係



※小歳代以下第1位を四捨五入  
※複数回答可につき、合計が100%になりません  
出所：内閣府男女共同参画局 男女間における暴力に関する調査（令和2年度調査）

## 性暴力の例【デートDV】 どんないことがデートDVになるの？

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、結婚している相手など親密な関係の相手からふるわれる暴力のことです。恋人同士の間にかかる暴力のことを「デートDV」と言います。

### 精神的暴力

こんな思い込みを  
していませんか？



相手を独占したり、束縛したりすることが愛情表現

殴る、蹴るといった体に対する暴力だけでなく、相手をバカにしたり無視をするといった行為もDVです。

19

## 性暴力の例【デートDV】 似たなことがデートDVになるの？

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、結婚している相手など親密な間柄の相手からふるわれる暴力のことです。恋人同士の間にかかる暴力のことを「デートDV」と言います。

### 性的暴力 こんな思い込みを していませんか？



~~男は強引なほうがいい  
女は素直に心がうもの~~

~~愛があれば暴力は  
許される~~

20

## 性暴力の例【デートDV】 似たなことがデートDVになるの？

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、結婚している相手など親密な間柄の相手からふるわれる暴力のことです。恋人同士の間にかかる暴力のことを「デートDV」と言います。

身体的暴力



精神的暴力



性的暴力



経済的暴力



親しい間柄でも自分と相手の気持ちを  
大切にしましょう

- 自分がいやだと思っただことはいやと言え
- 相手がいやががることがはしない

22

## 性暴力の例【デートDV】 似たなことがデートDVになるの？

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、結婚している相手など親密な間柄の相手からふるわれる暴力のことです。恋人同士の間にかかる暴力のことを「デートDV」と言います。

### 経済的暴力 こんな思い込みを していませんか？



~~お金を相手に  
払わされてもいい。~~

~~おごつたら  
えらそうにしてもいい。~~

21

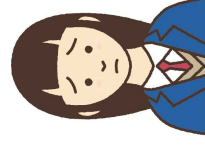
## 性暴力の例【セクシュアルハラスメント】

似たなことがセクシュアルハラスメントになるの？

着替えのときに女子が  
更衣室に入ってくるのが  
いやだなあ。。。



肩を揉まれたけど  
いやだなあ。。。



何度も断っているのに  
いつこくデートに誘われて  
いやだなあ。。。

さつきからジロジロ  
体を見られて  
いやだなあ。。。

- 発言や行為をした本人にはそのような意図がなくても、**相手が不快に感じればセクシュアルハラスメント**になります。
- **異性間だけでなく同性間でも起こります。**

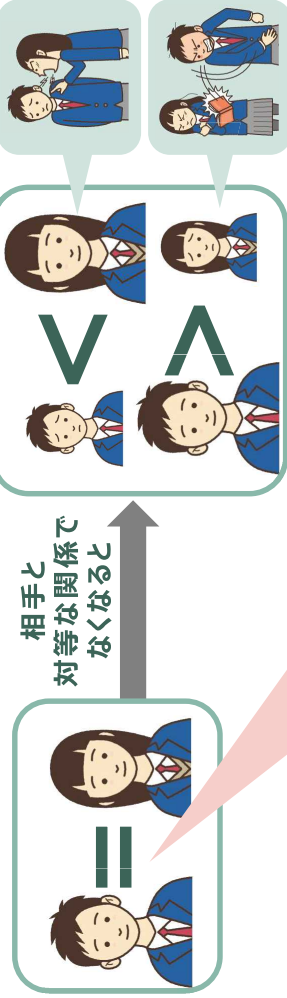
23



## 性暴力はどうして起こるの？

性暴力は、お互いの関係が対等でない場面で起こりやすい

もし、相手の行為をいやだと感じて、相手に遠慮して自分の意見を言えなくなってしまうときは、対等な関係ではない



## 対等な関係

## 性暴力が起きないようにするために

よりよい人間関係をつくることは、性暴力を防ぐことにつながっていきます。

自分を大切に

相手を大切に

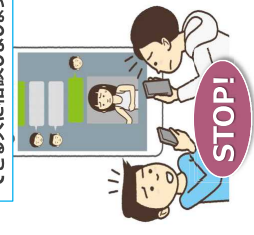
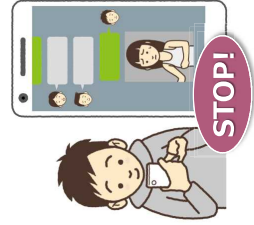
暴力をゆるさない

SNS等を通じた被害を例にと...

自分の下着姿や裸の撮ったり、送ったりしない

相手の下着姿や裸の写真を送らせたり、SNSに投稿したりしない

誰かの性的な写真が送られてきたら、そのままにしないで、信頼できる人に相談しよう



25

もし性暴力の被害にあったら...

## 大切な心と体を 守るために 2

# 考えてみよう



一時停止 (K)



2022. 9

## 二次被害が起きないためには

### 誤った 認識

二次被害とは、性暴力にあった人が周りの人の理解のない言動で心や体がさらに傷つけられることをいいます。

どうして抵抗しなかったの？

早く忘れてやり直しましよう

男は被害にあうはずがない

### 正しい知識を持つとう

#### 二次被害の例

被害当時の被害者の行動を非難する

自分の価値観を被害者に押し付ける

興味本位で事件の話を聞き出そうとする

知り合いに被害者のうわさ話をする

悪いのは加害者

抵抗しなかったのではなく、抵抗できなかった

被害にあったことは忘れたくても忘れられない

性別、年齢、職業関係なく性暴力は起こる

28

29

## 自分が性暴力の被害にあったら？

- いやだと声を出す
- その場から逃げる・距離をとる
- 相手からの連絡に返信しない
- あなたは悪くないということを伝える
- 気持ちを丁寧に聞き、そのまま受け止める

友だちが

被害にあった人は決して悪くありません。

被害にあった時に、体が固まる、声が出せないことはよくあります。

友だちの加害行為に気づいたら



## 自分が性暴力の被害にあったら？

- いやだと声を出す
- その場から逃げる・距離をとる
- 相手からの連絡に返信しない
- あなたは悪くないということを伝える
- 気持ちを丁寧に聞き、そのまま受け止める

友だちが

抱え込まないで、信頼できる人に助けを求めましょう。

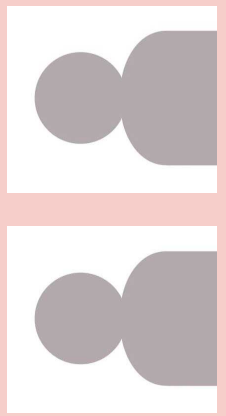
友だちの加害行為に気づいたら

## ● 信頼できる人に相談する

担任、教育相談、保健室、  
スクールカウンセラー、保護者など

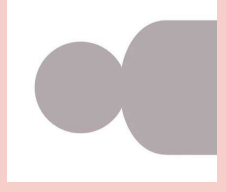
### 教育相談紹介

社会の先生 音楽の先生



### スクールカウンセラー

紹介



30

## 考えてみよう①

Aさん（男子）、Bさん（男子）、Cさん（女子）、Dさん（女子）は同級生です。教室の席が近いので休み時間はよくおしゃべりをします。

高校の同級生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんは、お昼休みに教室の席で話しています。

男子のAさんは、男友達のBさんから「今まで何人と付き合ったの？」「誰とも付き合ったことないでしょ？」とよく冗談ばく聞かれます。

Aさんはいつもいやな気持ちになりますが、怒ると空気を読めないとと言われるので、Bさんに合わせて笑って答えています。

そばにいる女友達のCさんは、はやしたてて、周りに言いふらしています。Dさんは、その会話を笑って聞いています。

32

-79-

## 考えてみよう①

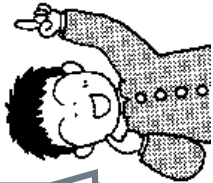
登場人物はそれぞれがどのような行動すればよかったのか考えてみましょう。

Aさんは、

Cさんは、

Bさんは、

Dさんは、



33

## 考えてみよう①

## セクシャルハラスメント

Aさん（男子）、Bさん（男子）、Cさん（女子）、Dさん（女子）は同級生です。教室の席が近いので休み時間はよくおしゃべりをします。

高校の同級生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんは、お昼休みに教室の席で話しています。

男子のAさんは、男友達のBさんから「今まで何人と付き合ったの？」「誰とも付き合ったことないでしょ？」とよく冗談ばく聞かれます。

Aさんはいつもいやな気持ちになりますが、怒ると空気を読めないとと言われるので、Bさんに合わせて笑って答えています。

そばにいる女友達のCさんは、はやしたてて、周りに言いふらしています。Dさんは、その会話を笑って聞いています。

34

## 考えてみよう②

高校生のAさん（男子）は最近、SNSを通じて、Bさんという同じ趣味をもつ同学年の女友達ができました。

Aさんは、SNSを通じて知り合った女友達のBさんから、今度実際に会おうと誘われました。趣味も同じで同級生だと思っていたのに、会ってみたらかなり年上の男性でした。

最初は親切に食事をごちそうしてくれましたが、別れ際に強引に車に乗せられて、連れ去られそうになってしまいました。

でも、SNSで知り合った人と会っていたことを親に知られたら怒られると思い、誰にも相談することができませんでした。

35

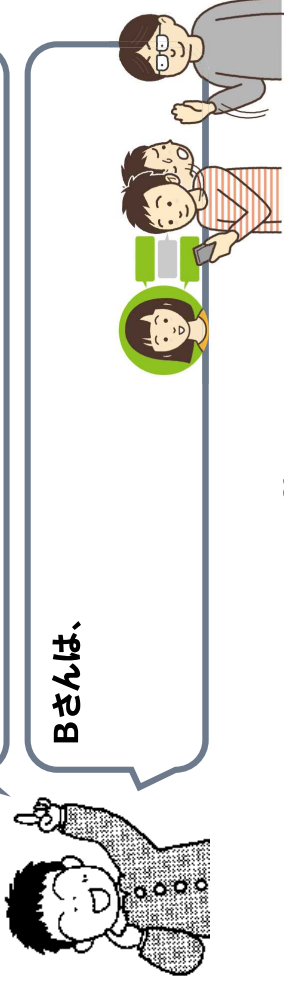
## 考えてみよう②

Aさんは、どのように行動すればよかったのかを考えてみましょう。

また、Bさんのしたことは、どんな罪になるのでしょうか？

Aさんは、

Bさんは、



36

## 考えてみよう③

女子高生のAさんは、夏休みに女友達と旅行に行く約束をしていたので短時間でお金が稼げるアルバイトを探していました。

女子高生のAさんは、SNSで「**同世代の女の子たち**とおしゃべりしたり、お菓子を食べながら遊ぶだけで**お金が稼げます!**」という**アルバイト**を見つけたので、アルバイトを始めました。

簡単な仕事のはずが、しだいにお店から、**性的な内容**を含む**過激な仕事を要求**されるようになりました。  
**辞めたいと言**うと、「**違約金**が**数百万円**かかる」「**親や学校にバラす**」などと**おどされて**しまいました。

38

## 考えてみよう② SNSの危険性

高校生のAさん（男子）は最近、**SNSを通じて、Bさん**という**同じ趣味**をもつ**同学年の女友達**ができました。

Aさんは、SNSを通じて知り合った**女友達のBさん**から、今度実際に会おうと誘われました。趣味も同じで同級生だと思っていたのに、**会ってみたらかなり年上の男性**でした。

最初は**親切に食事をごちそうしてくれました**が、別れ際に**強引に車に乗せられて、連れ去られそう**になってしまいました。

でも、SNSで知り合った人と会っていたことを親に知られたら怒られると思い、**誰にも相談**することができませんでした。

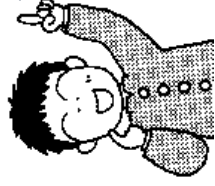
37

## 考えてみよう③

Aさんは、どのように行動すればよかったのかを考えてみましょう。

また、疑問に思うことはありますか？

Aさんは、



違約金って  
払わなければ  
いけないの？

……？

## 考えてみよう③

JKビジネス

女子高生のAさんは、夏休みに女友達と旅行に行く約束をしていたので、短時間でお金が稼げるアルバイトを探していました。

女子高生のAさんは、SNSで「同世代の女の子たちとおしゃべりしたり、お菓子を食べながら遊ぶだけでお金が稼げます！」というアルバイトを見つけたので、アルバイトを始めました。

簡単な仕事のはずが、しだいにお店から、性的な内容を含む過激な仕事を要求されるようになりました。

辞めたいと言うと、「違約金が数百万円かかる」「親や学校にバラす」などおどされてしまいました。

40

### 被害者・加害者

- 信頼できる人に相談する

(担任、教育相談、保健室、スクールカウンセラー、保護者など)

自分たちだけで解決しようとしなくて、信頼できる人に助けを求めましょう。



# 警察と法律



42

41

＝児童売春  
＝援助交際

# パパ活

# ママ活

# …活

# 婚活

# 就活



### 被害者・加害者

- 信頼できる人に相談する

(担任、教育相談、保健室、スクールカウンセラー、保護者など)

自分たちだけで解決しようとしなくて、信頼できる人に助けを求めましょう。

# 直接

# 警察官に 聞いてみよう



43

# ひとりで抱え込まずに話してみよう

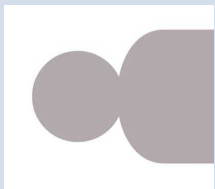
もし、性暴力にあっってしまったら・・・  
 友達が性暴力にあったら・・・  
 性暴力を目撃したら・・・  
 ひとりで抱え込まないで、だれかに話してみよう。  
 もし、周りの人に話せないときは、  
 あなたを助けてくれるところがあります。

あなたを助けてくれるところ

性犯罪・性暴力被害者のための  
 ワンストップ支援センター  
 (全国共通短縮番号)  
 は や く ワンストップ  
 # 8 8 9 1

性犯罪被害相談電話  
 ハートさん  
 (全国共通短縮番号)  
 は ー と さん  
 # 8 1 0 3

# 警察官から みなさんへ



## 性暴力に関するSNS相談 「Cure Time (キュアタイム)」<https://curetime.jp/>

叩いたり、蹴ったり、  
 あなたの身体を傷つけることだけが暴力ではありません。  
 あなたがイヤだと思っているのに無理やりされる  
 性的な行為もすべて暴力です。  
 これって普通なの？と思うこと、イヤだったこと、困っていること、  
 モヤモヤしていること、何でも相談して下さい。

年齢・性別・セクシュアリティを問わず、  
 匿名で相談を申し込み可能です。

相談する >

毎日、17時から21時  
 チャットでお話をうかがいます。  
 他の人や身近な人に相談内容が漏れることはありません。

メールでの相談を  
ご希望の方はこちら

メール相談 >

外国語での相談はこちら  
(foreign language)

外国語での相談 >

ご利用にあたっての注意事項 | 個人情報保護の取扱いに係る利用目的



性暴力とは

自分が望まない性的行為です  
 同意のない、知覚でない、強要された  
 性的行為はすべて性暴力です  
 性暴力はあなたに對する  
 著しい人権侵害であり犯罪行為です

性暴力を受けると

恐怖や不安で混乱した状態になったり  
 怒りや悲しみを隠したり  
 自分が嫌いになったり  
 何も感じなくなったり  
 何も考えられなくなったり  
 気持ちの落ち込み、記憶がなかったり  
 通学、通勤になったり、物事に集中しなくなるなど

これらは性暴力を受けた多くの人に  
 よく見られる反応です

女性支援員が総合的支援を行います  
 性暴力救援センター和歌山  
 マイネ  
 わかやまmine  
 073-444-0099  
 電話相談 ※年末年始を除く  
 9:00~22:00 (受付は21:30まで)  
 面接相談 ※年末年始を除く  
 9:00~17:45  
 ※要予約、土日・休日・年末年始を除く  
 ただし、緊急対応など  
 緊急医療は22:00まで ※年末年始を除く

その他の相談窓口  
 ・和歌山県子ども・女性・障害者相談センター  
 073-445-0793 (女性相談)  
 ・和歌山県男女共同参画センター「りいぶる」  
 073-435-5246  
 ・和歌山県警察本部警察相談課  
 #9110 (相談ダイヤル)  
 073-432-0110  
 ・性犯罪被害相談電話  
 #8103 (ハートさん)

わかやまmine に関するお問い合わせは  
 和歌山県子ども・女性・障害者相談センター  
 ・TEL 073-445-0793

わかやまmine 検索

※検索結果をお得の方には左  
 のQRコードからホームページを  
 ご覧いただけます

「私のからだは私のもの」  
 自分を大切にしながら自身の回復を  
 図ってほしいという思いから  
 わかやまmine (マイネ)  
 と名付けました

一人で悩んでいませんか  
 わかやまmine にご相談ください

# 「大切な心と体を 守るために」の 感想を書きましょう



次回予告：コミュニケーションスキルを学ぼう

**言動** を意識することで、  
行動を変えるチャンスをつかむ

攻撃的言動や  
非主張的な言動の  
特徴に気づく。  
行動は変えられる  
ことを知る。



Aさんは、



「適切な  
返答を  
返すには  
どうすれば  
いいですか？」

4 性犯罪・性暴力には、加害者・被害者・傍観者がいます。  
今日の学習を振り返って、感想やもっと知りたいと思うことを書きましょう。

5 自己評価 (1よくできた 2できた 3あまりできなかった 4わからない) の  
どれかに○印をしましょう。

① この授業に関心を持って学習することができましたか？

(1よくできた 2できた 3あまりできなかった 4わからない)

② 自分のこととして考えることができましたか？

(1よくできた 2できた 3あまりできなかった 4わからない)

③ 性犯罪・性暴力について理解が深まりましたか？

(1よく深まった 2深まった 3あまり深まらなかった 4わからない)

おわり



質問

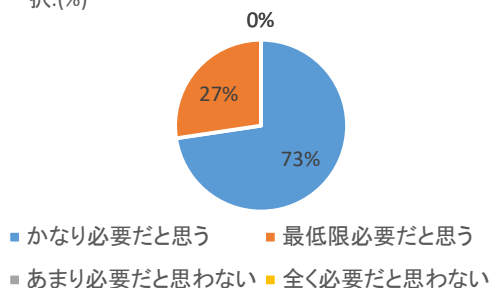
周知したいことがあれば、書いてね。

生命の安全教育事前アンケート結果

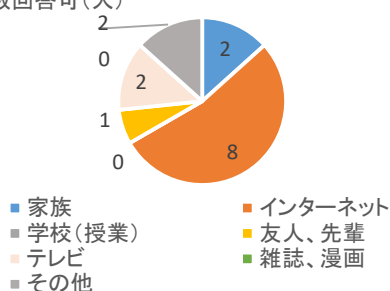
回答者数 106名 (R4.8.31実施)

NO.1

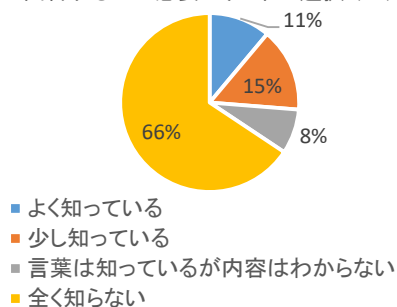
1.あなたは、生命(いのち)の安全教育は必要だと思いますか？回答するのに必要です。単一選択.(%)



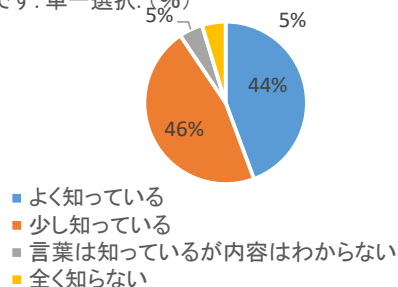
5.問4で「JKビジネス」という言葉を知っていると答えた人は、誰(何)から聞いて知りましたか？複数回答可(人)



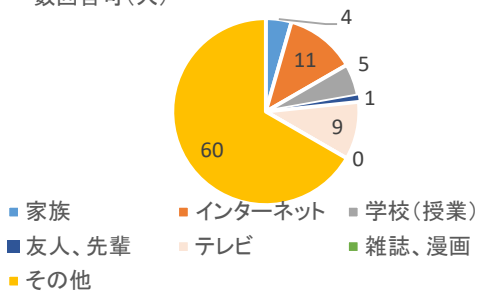
2.あなたは「デートDV」という言葉を知っていますか？回答するのに必要です。単一選択.(%)



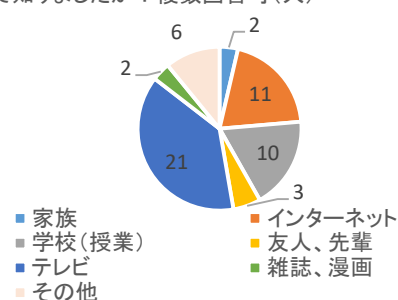
6.あなたは、「セクハラ＝セクシャルハラスメント」という言葉を知っていますか？回答するのに必要です。単一選択.(%)



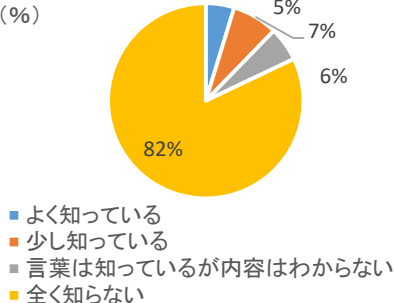
3.問2で「デートDV」という言葉を知っていると答えた人は、誰(何)から聞いて知りましたか？複数回答可(人)



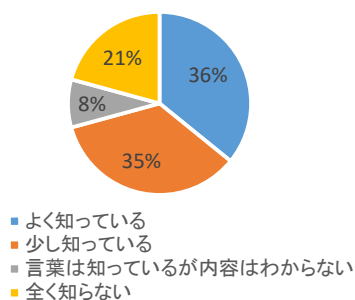
7.問6で「セクハラ＝セクシャルハラスメント」という言葉を知っていると答えた人は、誰(何)から聞いて知りましたか？複数回答可(人)



4.あなたは、「JKビジネス」という言葉を知っていますか？回答するのに必要です。単一選択.(%)

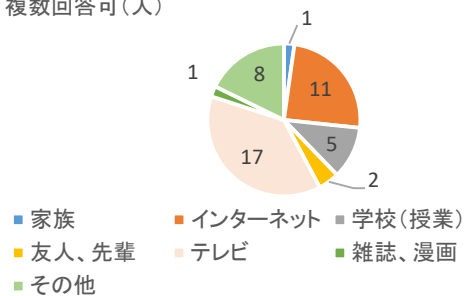


8.あなたは、「性犯罪・性暴力」という言葉を知っていますか？回答するのに必要です。単一選択.(%)

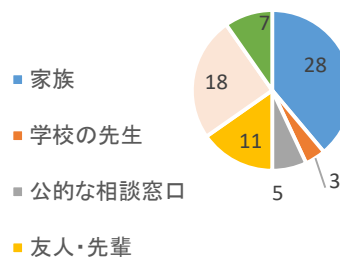




9.問8で「性犯罪・性暴力」という言葉を知っていると答えた人は、誰(何)から聞いて知りましたか？  
複数回答可(人)



11.もし、あなたが「性犯罪・性暴力」にあった場合、誰に相談しますか？複数回答可(人)

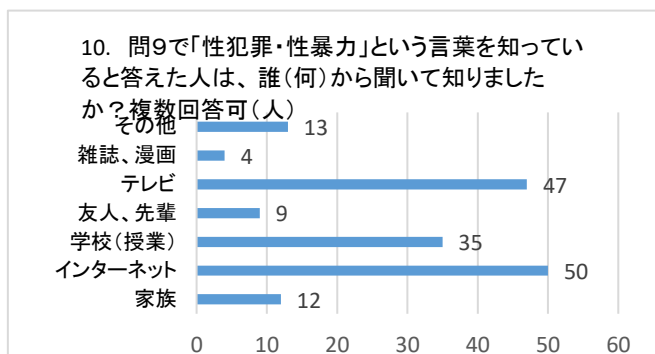
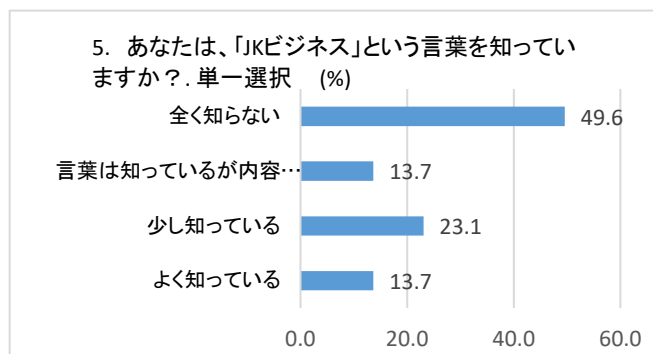
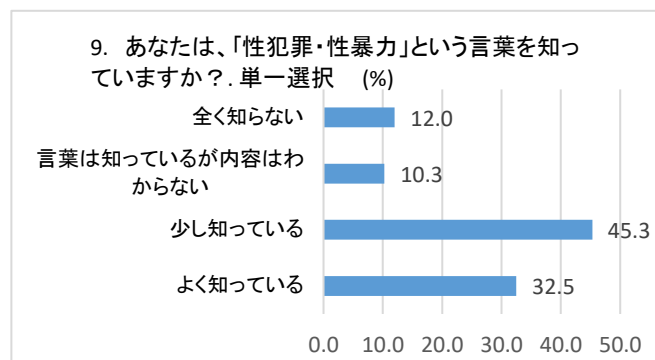
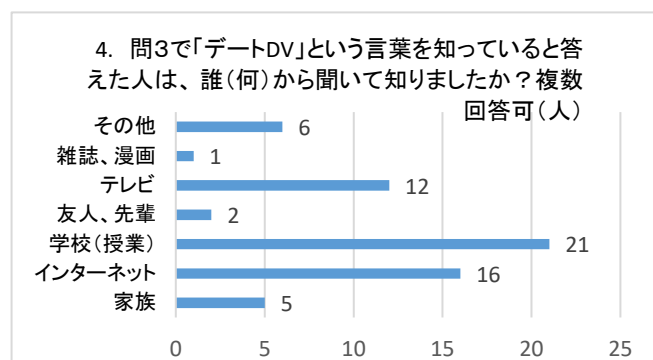
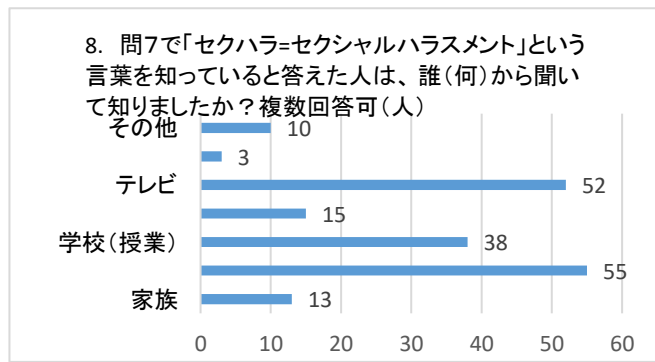
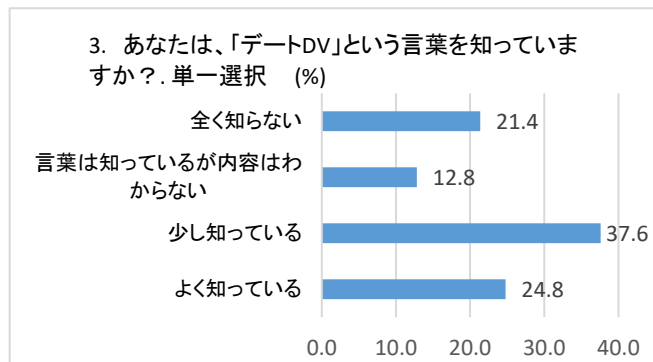
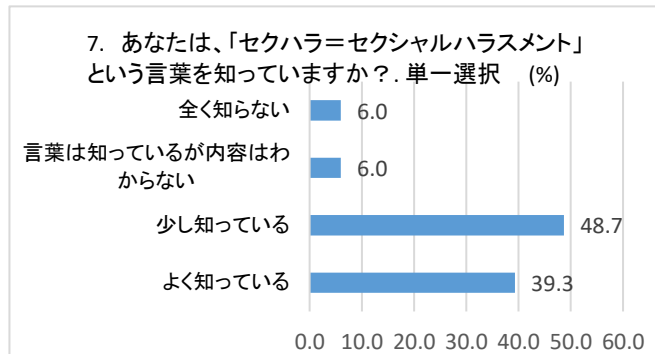
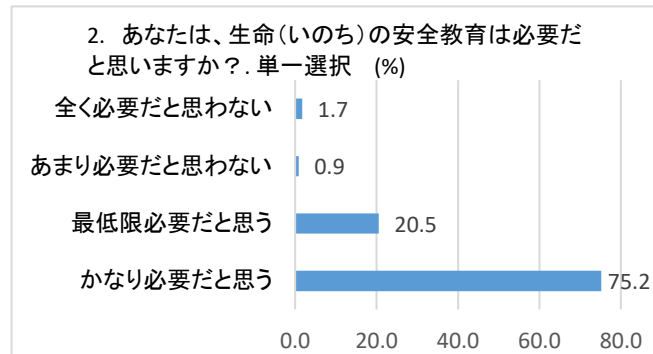
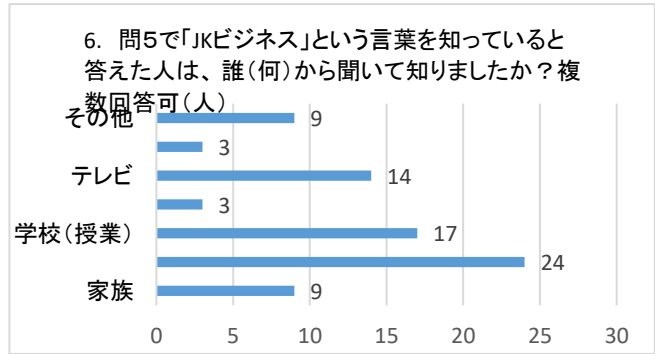
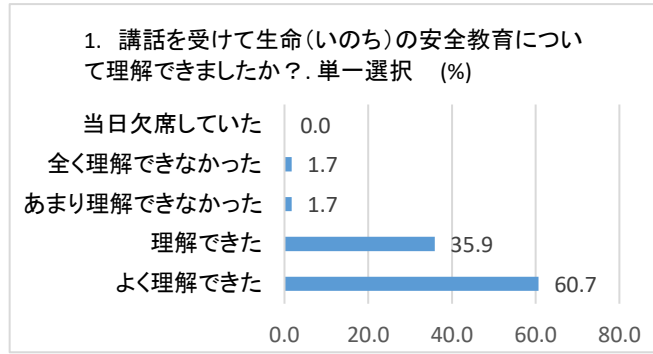


10.問8で「性犯罪・性暴力」という言葉を知っていると答えた人は、「性犯罪・性暴力」が起きないようにするためにはどうすればいいと思いますか？

- 分かりません
  - 家族に知らせる
  - 一人で出掛けルナを少なくする
  - 危ないところには行かない
  - 自分を強く持つ
  - 対策する
  - 手を出さない
  - 注意する
  - ネットで知り合った人に会わない
  - 重い罰を与える
  - 自分できおつける
  - 起こる前に誰かに相談する。
  - わからない
  - 性犯罪の授業をする
- ※一部を抜粋

12.生命(いのち)の安全教育で、警察官に聞きたいことはありますか？

- 一年で何人の被害者がいるのか
  - 命の大切さ
  - 警察官の話を聞いて、気になることがあれば質問したい
  - 簡単な護身術
  - 何をしたら命を守れますか
- ※一部を抜粋



11. 問9で「性犯罪・性暴力」という言葉を知っていると答えた人は、「性犯罪・性暴力」が起きないようにするためにはどうすればいいと思いますか？

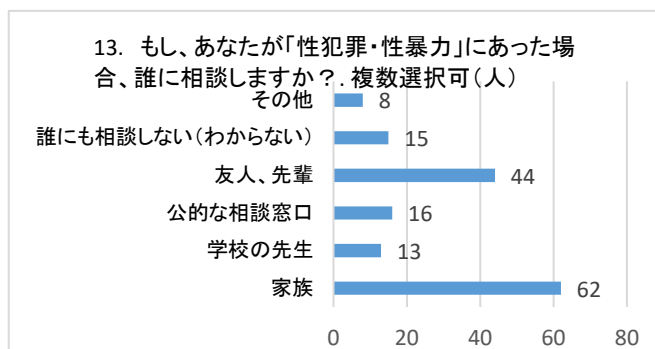
- 自分で自分をまもれるようにする
- きをつける
- 警戒心を持つ
- 信用しない
- 知らない人にひとりで会いに行かない。
- SNSで知り合った人には会いに行かない、異変を感じたらすぐに大人の人に相談したいと思います。
- 知識を持っておくようにして、危険な行動をしない
- まず自分自身が性犯罪・性暴力について知っておく。
- 疑う
- 怪しいものを見つけたら相談する
- インターネットで知り合った人には会わない。

※一部を抜粋

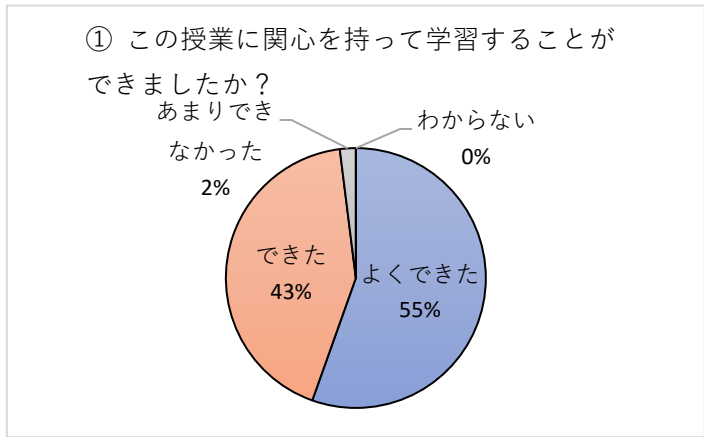
12. 「性犯罪・性暴力」にあった場合、どうすればいいと思いますか？

- ネットで誰かに相談する
- 警察に言う
- 親や先生に相談する。
- 家族に相談
- 警察や頼りになる大人に相談する。
- 警察や頼りにやる大人に相談したいと思いません。
- 信用できる人に相談する。
- 一人で抱え込まずに誰かに相談する。
- 大人に相談する
- 大声で叫ぶ
- その場で助けを求める。

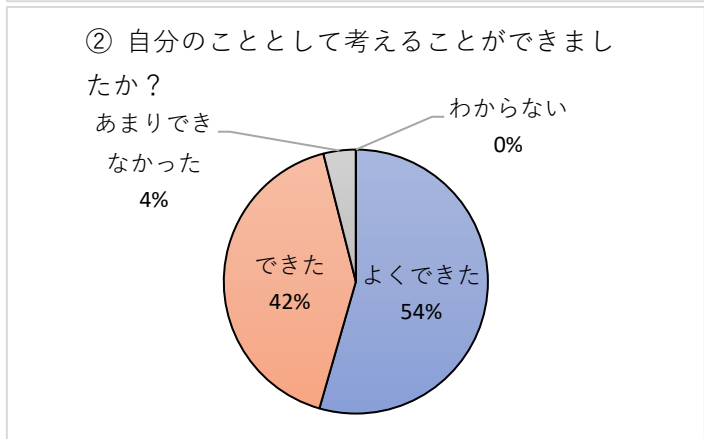
※一部を抜粋



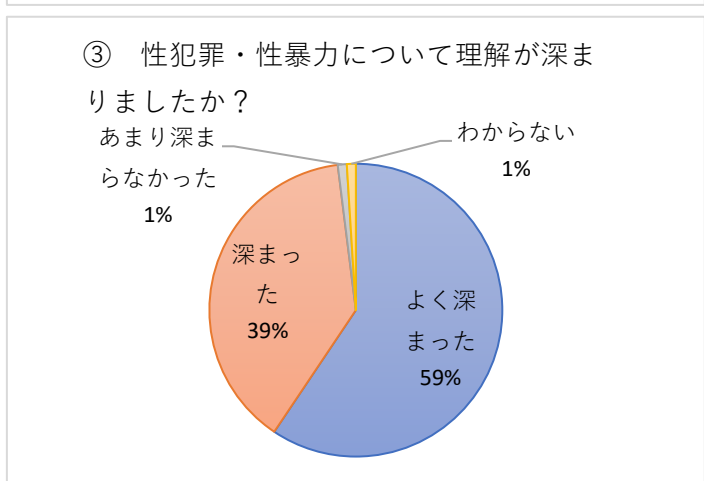
① この授業に関心を持って学習することができましたか？	
よくできた	56
できた	43
あまりできなかった	2
わからない	0



② 自分のこととして考えることができましたか？	
よくできた	55
できた	42
あまりできなかった	4
わからない	0



③ 性犯罪・性暴力について理解が深まりましたか？	
よく深まった	60
深まった	39
あまり深まらなかった	1
わからない	1



注) 無記名9名いたが、感想欄はしっかり書いていた。

◎性犯罪・性暴力には、加害者・被害者・傍観者がいます。今日の学習を振り返って、感想やもっと知りたいと思うことを書きましょう。(抜粋1)

- 今日の学習をして、女性だけでなく、男性も性暴力があるのだと思った。でも自分は大丈夫だと思っても危ないことがあるかもしれないので、気をつけたい。自分一人で抱え込まず、まわりの大人に相談しようと思いました。
- 今日の授業を聞いてみて、もしかしたら自分も知らずのうちに加害者になってしまっているかもしれないので、今後は相手のことを考えて行動していきたいと思います。
- 性犯罪や性暴力はどこでも起きるのが怖いと思った。SNSや学校など色々なところで起きていると知って怖かった。男性も被害に合うというのが怖かった。友達が被害に合ったりしたら、話を聞きに行ったりしなないようにしようと思った。
- 私もこの間電車に乗っていたらオジサンがすぐく話しかけてきたので、違う車両に移動しました。実際本当にそういうことがあったら、怖くて声が出ませんでした。でも、これからは近くの人や友達に助けを求めたいと思います。
- 性犯罪はとても怖いものなんだと知りました。やさしきで家に泊めてあげているわけではなく、性をしたいことなんだと気持ち悪いなと思いました。
- 近すぎていやだなと思ったときは、自分から言ってみて、相手との距離感を考えて、過ごそうと思いました。また、人の気持ちを考えて普段から過ごそうと思いました。

◎（続き）性犯罪・性暴力には、加害者・被害者・傍観者がいます。今日の学習を振り返って、感想やもっと知りたいと思うことを書きましょう。（抜粋2）

- 自分たちがよく使っているSNSでそういう犯罪があるのはわかっていたけど、こんな身近で起きていると思わなかった。自分もSNSの使い方を考えていきたい。
- なりすまして、いろんな人に会っていることが分かった。だまして、その人を連れて行くのが怖いと思う。友人などに変なアルバイトに誘われてもあまり気安くのらないように使用と思う。
- 相手の顔もわからないで、会うときは会う前に誰かに相談して考え抜いてから会うことにする。なにかトラブルに巻き込まれたら相談できる人に相談する。
- 性暴力になるってずいぶん何でもかんでもだなんて思った。相手がいやになったら、性暴力とも聞こえた。被害者を減らすのはいいと思うが、例にあがったちかん。これは、やっていない場合もあるので詳しく調査してほしい。一つの意見としてこの話は聞いてもいいのだろうか。正直一度聞いただけで自分の意見は変わらなかった。
- SNSで出会った人は話したことがあっても知らない人ということがよく知れた。ほかにも被害にあったりした場合の行動の仕方なども知れたから、このことをこれから活かしていきたいなど思った。
- 男同士でも起きるのは結構こわいと思いました。SNSではつながらないことではないので、これからもこういうことに巻き込まれないようにつながらないようにしていきます。
- 今までは、性暴力、性犯罪についてざっくりとしが知らなかったが、今回の話を聞いて詳しいことを理解することができた。
- 今SNSをよく使うからいつ何があってもおかしくないで、知らない人からしつこくメッセージがきたら、親に相談したいと思います。体と心の距離は人それぞれ違うので、言う言葉を考えたり、相手の気持ちを考えたいと思います。
- 体にさわらなくても性暴力だということを初めて知った。SNS怖いなって改めて感じた。危機感持って行動していく。傍観者も止めてあげたりした方がいいと思った。
- 昨年と今年ではどれだけ性犯罪・性暴力が増えているのかももっと知りたいと思った。護身術として大きな声を出す、いざその時がくると本当に声が出ないと思うし怖いと思う。
- DVにも種類があることが初めてわかった。暴力や暴言だけだと思っていた。性犯罪・性暴力は本当にひどいことだから、やりたくもないし、やられたくもない。もし、見つけたら助けてあげたいなど思った。
- 悪いのは加害者、傍観者であって被害者ではないということがわかった。だからもし自分が被害者の友人だったら、そのことを思い出させないようにしたい。
- やっぱり被害者のほとんどは被害にあったとき、声や行動に出せないを知った。人とつきあうのはむずかしいと改めて思った。
- 自分が我慢するのではなく、相談したりして状況をよくすることが大切だということがわかりました。また、周りにいる時に少しでも助けられる行動をしたいと思いました。
- 性犯罪の加害者は、犯罪の意識がないのはとてもこわいなと思いました。また、自分は「嫌だ」と言うのが、苦手なので言えるようになりたいです。
- 警察官の話聞いて、SNSの怖さややり取りの仕方が今までより知識がまた多く増えた。
- 加害者がやはり一番悪いけど、傍観者も悪いんだなと思いました。もし、こんなことを見たりしたら傍観者にならないでしっかり声をかけて止めてあげたり助けてあげたりしたいと思いました。
- 今日は色々なことを学んだので、これから自分がどのように生きていかなければいけないなどを考えさせられた。
- 性犯罪、性暴力、加害者、被害者、傍観者、いっぱい言葉がでてきてごちゃごちゃだけど深まった！！
- 被害者と傍観者は断る勇気を持たなければならないと思った。怖いと思ったら相談をすぐできるような環境も必要だなと思った。
- 自分は身近なことではないと思っていたけれど、全然ありえる話だと思いました。私は、困ったことがあれば、一人で抱え込んでしまうので何かあればすぐに相談しようと思います。
- 今日のお話を聞いて「DV」という言葉を聞くと、暴力だけを思い浮かべていたけれど、言葉だけでも「DV」になることを初めて知りました。SNSにはたくさんの危険があると改めて気づけたので、しっかり考えて、SNSでの交流を深めたいです。
- とても身になる授業で性犯罪、性暴力について深く知れたのでよかったです。
- 僕は、この授業を聞いて、印象が変わったことがあります。それは、性犯罪にあう被害者が結構多いことです。始めはこんな人にひっかかるやつおらんやろと思っていたけど意外と乗ってしまって、被害に合う人が多いことを知った。色々な手を使ってでもだましに来るので怖い。大声出したり勇気出して相談することが大事。
- 男女関係なく、性被害にあうことが分かった。被害にあった人は誰にも言えなくて、また被害にあっていることがあることが分かった。性暴力を受けると恐怖や不安で混乱した状態になったり、自分がイヤになったりすることがあるので怖いなど思った。
- 人によっては感じることは違うから、人のことを考えて行動していこうと思いました。
- ぜったいに加害者にならないように、そしてそのような人に対して助けられる人になりたいです。
- 自分のことやと思って聞いたり、見たり出来たのが良かった。何かあれば一人で悩まずに、すぐ相談しようと思った。
- 性犯罪、性暴力には、確かに加害者と被害者がいると思いますが、その状況によっては、加害者が100%悪いとは言えないと思いました。被害者はもっと疑い、ちょっとでもだめとか怪しいと思ったら行かない、やらないを意識した方がいいと思った。
- 今日の学習は、すごく分かりやすく、色々なことが学べました。
- 今日学んだことは、普段から考えたことがなかったけど、よく理解できた。今はSNSを使う機会が多いから、SNSを使う際は、気を付ける。



令和4年度 文部科学省委託事業  
学校等における生命（いのち）の安全教育推進事業

発行年月 令和5年2月

発行者 和歌山県教育委員会

〒640-8585

和歌山県和歌山市小松原1-1

TEL 073-441-3682

